

人づくり

令和 3 年度 目的別事業群総括管理 (決算) シート

1 第五次東広島市総合計画に掲げる施策

まちづくり大綱	3 人づくり	施策	1 人権・平和の尊重と男女共同参画の推進
施策の将来の目標像	様々な啓発や教育機会の充実によって、市民の人権意識が着実に高まり、誰もが互いに尊重しあい、自らの個性と能力が発揮でき、世界の恒久平和を志向する人材が数多く育つ社会となっています。		
施策の数値目標	指標	現状値 (H25年度)	目標値 (R6年度)
	「日常生活の中で、人権が大切にされている」と思う人の割合	41.6%	45.0%

2 目的別事業群の概要

目的別事業群名	① 人権啓発の推進	主管部局・所属	生活環境部 人権男女共同参画課
関係部局・所属			

3 目指す姿と戦略

目指す姿	市民一人ひとりが人権尊重の意識を高め、生き生きと暮らせる社会の実現	現状	多様な人権侵害が発生している	
	課題	仮説に基づく戦略	寄与度	戦略No.
	市民の人権に対する理解が不十分	啓発等の実施	中	1

4 成果指標

成果指標	初期値 (年度)	目標値及び実績値	目標値及び実績値			終期目標値 (年度) 達成率	単位
			R2	R3	R4		
(7) 「差別をなくすために、全ての人が自分の問題として考える必要がある」と考える市民の割合(市民満足度調査)	73 (R1)		75.6	77.9	80.2	85.0 (R6)	%
			84.7	80.5			
			112.0%	103.3%		94.7%	
(4)	()	上段：目標値 中段：実績値 下段：達成率				()	
(4)	()					()	

5 コスト情報

目的別 事業群 事業費 (千円)	R 2 年度	当初予算額		決算額		人件費
		一般財源		一般財源		
			8,881		5,050	7,067千円
			7,019		3,758	
	R 3 年度		6,144		4,567	
			5,119		3,868	

概要シート

まちづくり大綱	施策	目的別事業群
3 人づくり	1 人権・平和の尊重と男女共同参画の推進	① 人権啓発の推進

事業の概要					
戦略	1 啓発等の実施	予算	6,144 千円	決算	4,567 千円
事務事業	1-1 人権啓発推進事業	予算	6,144 千円	決算	4,567 千円

内容

1-1_人権啓発の推進

① 人権啓発の推進

ア 啓発活動の実施 (2,625 千円)

人権問題に対する正しい理解と認識を深めて意識高揚を図るため、各種啓発活動を行った。

(ア) 人権教育・人権啓発指導者研修会 (10 月)

昨年度に引き続き「性の多様性 LGBTQ+」をテーマに掲げ、研修会を実施した。また、広く市民に啓発を行う狙いから、一定期間 YouTube 配信も行った。

(イ) 人権フェスティバルひがしひろしま 2021 (12 月)

「子どもの人権 みんなちがってみんないい」をテーマに掲げ、LGBTQ+ 当事者による講演会や人権教室等を実施した。併せて、人権週間の期間中、パネル展も同時開催し、「SOGIE は誰もがもつ人権である」ことを啓発した。



「人権教育・人権啓発指導者」R3.10.25 実施



「人権フェスティバルひがしひろしま 2021」R3.12.4 実施

イ 人権擁護事業への補助 (748 千円)

東広島竹原人権擁護委員協議会が実施する事業に対する補助を行った。

【新】ウ 人権教育及び人権啓発推進基本計画の改訂 (1,194 千円)

部落差別解消推進法の施行や市民意識調査を踏まえ、社会情勢の変化、国際的潮流の動向等について、基本計画の時点修正等を行った。

【新】エ インターネット差別書き込みモニタリングの実施 (0 千円)

インターネット上の差別書き込みの実態を明らかにしていくため、ウェブサイトのモニタリング（監視）を行い、発見した差別書き込み 10 件について削除要請を行った。

令和 3 年度 目的別事業群総括管理 (決算) シート

1 第五次東広島市総合計画に掲げる施策

まちづくり大綱	3 人づくり	施策	1 人権・平和の尊重と男女共同参画の推進
施策の将来の目標像	様々な啓発や教育機会の充実によって、市民の人権意識が着実に高まり、誰もが互いに尊重しあい、自らの個性と能力が発揮でき、世界の恒久平和を志向する人材が数多く育つ社会となっています。		
施策の数値目標	指標	現状値 (H25年度)	目標値 (R6年度)
	「日常生活の中で、人権が大切にされている」と思う人の割合	41.6%	45.0%

2 目的別事業群の概要

目的別事業群名	② 男女共同参画の推進	主管部局・所属	生活環境部 人権男女共同参画課
関係部局・所属			

3 目指す姿と戦略

目指す姿	性別にかかわらず個性と能力を発揮できる男女共同参画社会の実現	現状	固定的な性別役割分担意識が根付いている	
課題		仮説に基づく戦略	寄与度	戦略No.
市民の男女共同参画に対する理解が不十分	啓発等の実施		中	1

4 成果指標

成果指標	初期値 (年度)		目標値及び実績値			終期目標値 (年度) 達成率	単位
			R2	R3	R4		
(7) 「地域社会において男女の地位は平等だ」と考える市民の割合(市民満足度調査)	42.9 (R1)	上段：目標値 中段：実績値 下段：達成率	44.0	45.5	47.0	50.0 (R6)	%
			40.7	25.1			
			92.5%	55.2%		50.2%	
(4)	()					()	
(4)	()					()	

5 コスト情報

目的別事業群事業費 (千円)	R 2 年度	当初予算額		決算額		人件費
		一般財源		一般財源		
			3,661		2,953	8,392千円
			3,658		2,856	
	R 3 年度		3,829		3,173	
			3,828		3,113	

概要シート

まちづくり大綱	施策	目的別事業群
3 人づくり	1 人権・平和の尊重と男女共同参画の推進	② 男女共同参画の推進

事業の概要					
戦略	1 啓発等の実施	予算	3,829 千円	決算	3,173 千円
事務事業	1-1 男女共同参画の推進	予算	3,829 千円	決算	3,173 千円

内容

1-1_男女共同参画の推進

① 男女共同参画の推進

ア エスポワールの運営 (2,873 千円)

男女共同参画社会の実現を目指して、活動推進員を配置し、各種情報の収集・提供や講座等を開催した。

(ア) 情報収集・提供

a 男女共同参画に関わる図書等の収集、閲覧、貸出及び紹介の実施

図書の紹介広報「わたしとあなたの本箱」を年3回発行

b メールマガジンの配信

男女共同参画に関する最新情報 毎月1回 (年間12回)

(イ) 活動支援

a 女性団体への活動スペース等の提供

登録数11団体へ8回提供

【拡】 (ウ) 講座

a おしゃべりカフェ連続講座

子育て中で、これから働こうとする女性を対象として、ライフプランやキャリアデザインに役立つ知識を学ぶ講座を6回実施した。

b おしゃべりカフェ特別講座

男性を対象として、人権フェスティバルで「絵本の読み聞かせ講座(初級)」を実施した。



「絵本の読み聞かせ講座(初級)」

R3.12.4

【成果・課題】

女性を対象とした「おしゃべりカフェ連続講座」は、「自分自身を見つめ直すきっかけになった」「学習したことを生活に取り入れていきたい」等の感想が得られ好評であった。

一方では、「女性だから」という理由で社会が作り上げた無意識の偏見に縛られ、「生きづらさ」を感じる女性がいるという現実もあることから、アンコンシャス・バイアスの啓発が重要である。

イ 啓発活動の開催（300 千円）

(7) キャリアデザイン講座

将来の進路選択時期を迎えている生徒を対象に、自身のライフプランについて考えるきっかけづくりとして、身近な法律や制度について知る機会を設けた。

実施校：市内高等学校 1校

【成果・課題】

これから社会人となる生徒、アルバイトをしながら学ぶ生徒等から、キャリアデザイン講座を受講して、「自分自身を守るために法律を知ることや相談することが大切だ」という感想が多く寄せられ、学校の教科では履修できない内容を提供できたことは意義深い。更に多くの高等学校に参加してもらえるよう働きかけていく。

(1) 男女共同参画の人形劇

幼稚園や保育所で人形劇による啓発事業を実施する予定であったが、参観日などの行事が新型コロナウイルス感染症拡大に伴い自粛されており、実施することができなかった。

令和 3 年度 目的別事業群総括管理 (決算) シート

1 第五次東広島市総合計画に掲げる施策

まちづくり大綱	3 人づくり	施策	1 人権・平和の尊重と男女共同参画の推進
施策の将来の目標像	様々な啓発や教育機会の充実によって、市民の人権意識が着実に高まり、誰もが互いに尊重しあい、自らの個性と能力が発揮でき、世界の恒久平和を志向する人材が数多く育つ社会となっています。		
施策の数値目標	指標	現状値 (H25年度)	目標値 (R6年度)
	「日常生活の中で、人権が大切にされている」と思う人の割合	41.6%	45.0%

2 目的別事業群の概要

目的別事業群名	③ 平和を希求する人材の育成	主管部局・所属	総務部	総務課
関係部局・所属				

3 目指す姿と戦略

目指す姿	戦争の愚かさや原爆の悲惨さを理解し、平和への願いを語る人材の輩出	現状	啓発や教育機会の不足により、平和を志向する人材が育成できていない。	
課題		仮説に基づく戦略	寄与度	戦略No.
戦争の悲惨さや核兵器の残虐さを知る機会が減少している	平和に関する啓発の場の確保	高	1	
	平和に関する資料(情報)の確保	低	2	

4 成果指標

成果指標	初期値 (年度)	目標値及び実績値	目標値及び実績値			終期目標値 (年度) 達成率	単位
			R2	R3	R4		
(7) 市内小中学校における被爆体験証言講話または巡回原爆展の実施率の倍増(過去開催累積)	14.5 (H30)	上段：目標値 中段：実績値 下段：達成率	30	50	70	100 (R6)	%
	23		30		30.0%		
	76.7%		60.0%				
(1) 市内高等学校における被爆体験証言講話または巡回原爆展の実施率の倍増(過去開催累積)	0 (R1)		10	40	60	100 (R6)	%
		33	33		33.0%		
		330.0%	82.5%				
(4)	()					()	

5 コスト情報

目的別事業群事業費(千円)	R年度	当初予算額		決算額		人件費
		一般財源		一般財源		
	2年度		2,206		1,090	2,840千円
			2,206		1,090	
	3年度		2,860		2,476	
			2,860		2,476	

6 戦略を構成する事務事業

(単位：千円)

No.	款・項・目 事務事業名	所属	人役	R2 当初予算額	R3 当初予算額
				R2 決算額	R3 決算額
1-1	2・1・12 平和行政推進事業	総務課	0.33	1,665	1,047
				998	697
2-1	2・1・12 平和資料保存事業	総務課	0.12	541	1,813
				92	1,779
合計			0.45	2,206 1,090	2,860 2,476

7 R3事業費の分析(差額=「R3年度当初予算額」-「R3年度決算額」) ※決算額には繰越を含む。

差額	分析
384千円	新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、他自治体との連携に係る取組が実施されなかったことなどによる。

8 R3成果指標の分析(成果指標の平均達成率)

平均達成率	分析
71.3%	小中学校では、新たに平和事業を開催した学校が増加したが、高等学校では、新たな学校で平和事業を実施することができなかった。

9 取組の分析

区分	分析ポイント	概要
妥当性	取組の目的・対象・手段の設定は、社会のニーズ等を踏まえ適切であったのか。	戦争の悲惨さや核兵器の残虐さを知る機会が減少するなか、恒久平和を担う人材を育てることが求められており、次世代への継承を目的とし、被爆資料の展示機能の強化を図るなど、発信力の拡充に取り組んだことは、適切であった。
効率性	投入資源量、実施主体等を踏まえ、最も経済的・効率的な手段であったのか。	職員による直営作業と東広島市原爆被爆資料保存推進協議会によるボランティア活動により事業を実施している。当該協議会には、直接経費のみ補助しており、コストの削減の余地はなく、経済的には概ね適切であるが、より多くの学校での事業実施に向け、開催時期を平準化するなど効率的に取り組む必要がある。
外的要因	外的な要因による影響はあったのか。	新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、加盟都市会議の総会が取りやめとなるなど、一部の取組が実施されなかった。

10 総合評価

総合評価	<総評>
B	平和に関する啓発の場の確保については、被爆体験証言講話のリモート開催など新たな取組の実施により実績が増加したが、開催時期を調整するなどより効率的な実施が必要である。平和に関する資料(情報)の確保については、被爆資料の展示機能を拡充したことで、資料の保存と活用の推進が図られた。

11 今後の課題及び取組方針

課題	課題を踏まえた今後の取組方針
戦後76年以上が経過し、戦争体験や被爆体験の伝承が希薄化し、戦争の悲惨さや核兵器の残虐さを知る機会が減少している。 東広島市原爆被爆資料保存推進協議会をはじめ関係団体等との連携を図り、取組を実施しているが、市民の平和に関する意識を啓発する場の確保と、平和に関する資料と伝承の保存・継承が課題となっている。	市民が平和に関する意識を醸成する場を確保するため、広報活動等を継続しつつ、教育現場と連携し平和祈念式典等を通じ啓発機会を充実するとともに巡回原爆展等の開催時期を調整するなど、より効率的な実施を図る。 平和に関する伝承と資料の確保を図るため、市民による平和活動を支援し、拡充した展示機能を活用した情報発信等を推進するとともに、加盟都市会議を通じ広域的な情報収集と発信を図る。

概要シート

まちづくり大綱	施策	目的別事業群
3 人づくり	1 人権・平和の尊重と男女共同参画の推進	③ 平和を希求する人材の育成

事業の概要					
戦略	1 平和に関する啓発の場の確保	予算	1,047 千円	決算	697 千円
事務事業	1-1 平和行政推進事業	予算	1,047 千円	決算	697 千円

内容

1-1_平和に関する事業の推進

戦後 76 年を迎え、戦争・被爆体験者から直接、戦争の悲惨さや核兵器の残虐さを聴くことのできる機会が減少しているため、話を「聴く場」及び資料を「見る場」を確保するため、平和事業を推進した。

①市民の記憶の継承（0 千円）

平和祈念式典を開催し、恒久平和の実現と核兵器廃絶に対する市民の意識の高揚を図った。（健康福祉部との共催）

ア 戦没者追悼式並びに平和祈念式典の開催

時期：8 月 4 日

会場：黒瀬生涯学習センター



戦没者追悼式並びに平和祈念式典



子ども平和メッセージ



平和学習バス参加者による献花

イ 被爆ピアノの演奏（うち 0 千円）

被爆ピアノ所有者と開催日程が折り合わなかったため、被爆ピアノの演奏は実施できなかった。

②学習の場の提供（157 千円）

小中学生及び高校生をはじめ、市民が平和や非核兵器について学ぶ機会を提供した。

ア 巡回原爆展の実施（うち 110 千円）

市内の小中学校（8 月）及び高等学校（11 月）に開催した。また、展示パネルを新たに制作した。

R 3 実績 5 回開催（小学校 2、中学校 1、高等学校 2）

イ 被爆体験証言者の派遣（うち 47 千円）

7 月～8 月に市内小中学校へ被爆体験証言者を派遣し、講演会を開催した。

R 3 実績 派遣回数 2 回、受講者 622 人（児童・生徒数）

事業の概要



巡回原爆展
(中学校)



巡回原爆展
(高等学校)



被爆体験の講話
(リモート開催)

【成果・課題】

展示パネルの拡充や被爆体験証言のリモート開催など実施方法の見直しにより、多くの生徒を対象に事業を実施することができたが、繁忙期（7月下旬から8月上旬）にあって依頼が集中し、対応できなかった学校もあった。

今後は、学校イベントや授業との併催を推奨するなどにより、効率的に実施機会の拡充を図っていく。

③平和に関する広報（540千円）

広報紙や都市宣言デジタル表示盤を活用し、「平和・非核兵器都市東広島市宣言」等の周知と、「原爆の日」及び「終戦記念日」における黙とうの呼びかけを行った。

ア 都市宣言デジタル表示盤の活用

市役所2階渡り廊下に設置した都市宣言デジタル表示盤に、平和メッセージ等を表示し、啓発を行った。

イ 核実験等抗議文

ロシア連邦によるウクライナへの軍事侵攻と核兵器の使用示唆に対し、抗議文を送付した。

事業の概要				
戦略	2	平和に関する資料（情報）の確保	予算 1,813 千円	決算 1,779 千円
事務事業	2-1	平和資料保存事業	予算 1,813 千円	決算 1,779 千円

内容

2-1_平和に関する資料の保存

原爆被爆資料を保存するとともに、戦争の愚かさと平和の重要性を若い世代に伝承する活動を支援した。併せて、全国の自治体や平和活動団体と連携し、平和・非核兵器に関する情報を確保した。

【拡】①原爆被爆資料保存事業等の支援（1,749 千円）

平和学習活動、原爆被爆資料展示、被爆証言活動を支援した。

ア 平和学習活動

市内の小中学校の児童・生徒が参加する平和学習バスを8月4日に実施し、戦没者追悼式並びに平和祈念式典へ出席し、原爆被爆資料展示室を見学し、市内在住の被爆者による講話を聴講した。

R 3実績 参加校数 45（参加人数は各校 1 人）

【成果・課題】

平和学習バスは、令和2年度はコロナ禍により中止となったが、令和3年度は、参加人数を各校1人に減じ、関係機関と連携することで開催できた。

また、戦没者追悼式並びに平和祈念式典に参列することで東広島市の歴史と祈りに触れる平和学習の機会の創出につながった。

今後は、広島市内での学びと東広島市内での活動を両立するための調整と事業実施体制の維持に向け、関係機関と一層の連携を図っていく必要がある。

イ 原爆被爆資料展示

原爆被爆資料を整理し、サンスクエア東広島2階の原爆被爆資料展示室のリニューアルを実施し、原爆被爆資料の保存を図るとともに、展示内容の充実による発信力の強化に取り組んだ。

ウ 被爆体験伝承講話

被爆者が自らの体験を次代へ語り継ぎ、戦争の愚かさと恒久平和への道を示すため、新たな伝承者の育成などに取り組んだ。



平和学習バス



リニューアルした原爆被爆資料展示室



②平和・非核兵器に関する情報収集の強化（うち 30 千円）

平和の推進のため、他の自治体や平和活動団体との連携を深め、広域的かつ多角的な平和・非核兵器に関する情報を収集した。

事業の概要

ア 平和団体との連携（うち 30 千円）

平和首長会議等への加盟を通じて、他の自治体と連携した。日本非核宣言自治体協議会の親子記者事業の中国地方ブロック代表に、本市の小学生親子が選出され、本市と長崎市の被爆者等を取材し、親子新聞を作成した。

団体名	加盟自治体数(R4.9月現在)	会長都市
日本非核宣言自治体協議会	347	長崎市
平和首長会議	1,737(国内)8,206(世界)	広島市



親子記者による被爆者の取材



作成された親子新聞

イ 平和に関する国内加盟都市会議（うち 0 千円）

新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い、出席を予定していた加盟都市会議の総会等は全て中止となった。

6 戦略を構成する事務事業

(単位：千円)

No.	款・項・目 事務事業名	所属	人役	R2 当初予算額	R3 当初予算額
				R2 決算額	R3 決算額
1-1	3・2・1 保育の魅力向上推進事業	保育課	2.00	6,998	13,380
				4,144	9,310
1-2	10・4・1 幼保小連携推進事業	指導課	0.05	174	104
				152	33
合計			2.05	7,172 4,296	13,484 9,343

7 R3 事業費の分析 (差額 = 「R3 年度当初予算額」 - 「R3 年度決算額」) ※決算額には繰越を含む。

差額	分析
4,141千円	新型コロナウイルス感染症対策のため、研修をオンラインで実施したことによる旅費等の減による。

8 R3 成果指標の分析 (成果指標の平均達成率)

平均達成率	分析
96.6%	教育・保育内容について、概ね肯定的な評価を得ている。

9 取組の分析

区分	分析ポイント	概要
妥当性	取組の目的・対象・手段の設定は、社会のニーズ等を踏まえ適切であったのか。	子ども主体の視点で「魅力ある保育環境づくり」などの新たな取組みによって幼児教育・保育の質の向上を実践しており、保護者アンケートの結果は高い満足度を示している。
効率性	投入資源量、実施主体等を踏まえ、最も経済的・効率的な手段であったのか。	保育士の資質向上に必要な研修カリキュラムは直営で考案する一方で、研修の一部を外部講師の活用な民間委託によって、効率的かつ効果的な運用を実現できている。
外的要因	外的な要因による影響はあったのか。	新型コロナウイルス感染症対策のため、研修の一部について、実施方法をオンラインなどに変更することで影響を最小限に抑えることができた。

10 総合評価

総合評価	<総評>
A	有識者等からの提言などを踏まえ「ひがしひろしま乳幼児教育・保育アクションプラン」を策定し、アクションプランに沿った具体的な取組みに着手することができた。

11 今後の課題及び取組方針

課題	課題を踏まえた今後の取組方針
アクションプランの内容に沿って、保育士研修・保育環境の充実を図ったが、各施設の状況にバラつきがあるため、全体的な底上げを図る必要がある。	→ これまでの取組内容と効果を全施設で共有し、必要に応じた研修を行うとともに、プランに掲げる取組みの支援対象施設を増やすなど水平展開することで、保育環境の充実への取組みを市全体へ波及させる。 また、保育士研修等を通じた資質の向上も進めていく。

概要シート

まちづくり大綱	施策	目的別事業群
3 人づくり	2 乳幼児期における教育・保育の充実	① 幼児教育・保育の充実

事業の概要			
戦略	1 乳幼児教育・保育の質の向上(施設における育成支援)	予算 13,484 千円	決算 9,343 千円
事務事業	1-1 保育の魅力向上推進事業	予算 13,380 千円	決算 9,310 千円
内容			
<p>1-1_保育の魅力向上の推進</p> <p>① 保育士等を対象とした研修の充実 (1,921 千円)</p> <p>【拡】 ア 子育てサポート研修 保育の実践に繋げるため、研修内容を充実させた。 (研修コース) 乳児保育、幼児教育、障害児保育、食育・アレルギー、 保健衛生・安全対策、保護者支援・子育て支援</p> <p>【拡】 イ キャリアアップ研修 保育士の処遇改善につながるキャリアアップ研修を実施した。 (研修コース) 乳児保育、マネジメント</p> <p>ウ 東広島市保育コーディネーターフォローアップ研修 施設運営の中核を担う保育コーディネーターの役割を明確化し、研修を 充実させることで、各施設の保育の質の向上を目指した。 (内容) 保育コーディネーターの役割、ソーシャルワーク及び関係機関との連 携</p> <p>【新】 エ 施設長のマネジメント力の強化 施設全体をマネジメントする立場にある施設長を対象とした研修を 実施した。</p> <p>【新】 オ 外部講師を活用した園内研修の充実 県の幼児教育アドバイザーや大学講師等の外部講師を活用した園内 研修を実施した。</p> <p>【成果・課題】</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <p>令和3年6月策定の「ひがしひろしま乳幼児教育・保育アクションプラン」に基づき、実践的な研修内容への見直し等により、幼児教育・保育の質の向上に必要なノウハウの習得及び理解を深めることができた。</p> <p>令和3年度の取組結果を基に、さらに理論と実践の融合による幼児教育・保育の質の向上に向けて、保育士等と研究者との連携を推進する必要がある。</p> </div>			

事業の概要

【新】② 保育環境の充実（5,369 千円）

ア 子どもの5つの力を育む保育施設の魅力ある環境づくり

市内の9施設に対して、保育室及び園庭等の改善による子どもの豊かな体験を生む環境づくりの支援を行った。



保育施設での環境整備の様子

【成果・課題】

子どもの目線に立った保育室及び園庭等のより良い環境づくりに取り組むことによって、「ひがしひろしま乳幼児教育・保育アクションプラン」で掲げている目指す乳幼児の姿「とことんあそび 豊かに育つ ところとからだ」を育む幼児教育・保育の実践につなげることができた。

今後は、子どもの5つの力を向上させる保育環境づくりをより多くの施設において実践できるよう水平展開する必要がある。

事業の概要			
戦略	1 乳幼児教育・保育の質の向上(施設における育成支援)	予算 13,484 千円	決算 9,343 千円
事務事業	1-2 幼保小連携推進事業	予算 104 千円	決算 33 千円
内容			
1-2_幼稚園、保育所、小学校の連携・接続の推進			
① 幼保小連携の推進 (33 千円)			
ア 連携研修会及び公開保育の開催			
【実施内容】 幼保小連携研修の実施 (全体 1 回、分散 3 回)			
【成果・課題】			
<p>小学校の担当者が幼稚園・保育所での保育参観に参加し、日常的に連携を図っていくことの重要性について理解を深めることができた。今後、幼保小連携を更に推進していくための体制整備を行うことが必要である。</p>			

令和 3 年度 目的別事業群総括管理 (決算) シート

1 第五次東広島市総合計画に掲げる施策

まちづくり大綱	3 人づくり	施策	3 高い教育力と伝統を活かした学校教育の実践
施策の将来の目標像	すべての子どもたちが「確かな学力」、「豊かな心」、「健やかな体」を育む教育を受けられ、青少年が将来に夢と希望をもち、主体性と創造性をもった人間として健やかに成長し、活動していくことができる安全・安心な社会環境が整っています。		
施策の数値目標	指標	現状値 (H29年度)	目標値 (R6年度)
	全国学力・学習状況調査結果における正答率40%未満の児童の割合	11%	9%以下
	全国学力・学習状況調査結果における正答率40%未満の生徒の割合	17%	15%以下

2 目的別事業群の概要

目的別事業群名	① 学校運営の支援と教育内容の充実	主管部局・所属	学校教育部 指導課
関係部局・所属	学校教育部 教育総務課	学校教育部	学事課

3 目指す姿と戦略

目指す姿	本市の高い教育水準が維持されるとともに、学校業務の抱え込みを解消することが出来る	現状	学校長のマネジメントに支援を要する状況及び伝統による高い教育水準が困難な状況が見られる
課題	仮説に基づく戦略		寄与度 戦略No.
学校運営・教育内容両面においてデジタル化が不十分	学校教育の情報化を活かした未来につながる教育内容の展開	高	1
新しい教育課題に対応するためには、教員の力量形成が不可欠	新たな教育へ対応するための校内研修の充実及び東広島教育の伝統追求	中	2
安全且つ魅力的な施設の観点において計画的施設整備が不可欠	未来的志向での学校施設整備及び長寿命化計画に基づく学校施設の大規模改修	低	3
多様化する教育課題の対応に加え、特色ある教育活動を行うための学校運営を支援する仕組みが不十分	特色ある教育活動に対する力強いサポートと、学校教育への地域の教育力導入促進	低	4

4 成果指標

成果指標	初期値 (年度)	目標値及び実績値	目標値及び実績値			終期目標値 (年度) 達成率	単位
			R2	R3	R4		
(7) 全国学力・学習状況調査において、正答率40%未満の児童の割合	9 (R1) マイナス指標設定	上段：目標値 中段：実績値 下段：達成率	8.7	8.5	8.3	8.0 (R5)	%
	中止		9	94.4%	88.9%		
(4) 全国学力・学習状況調査において、正答率40%未満の生徒の割合	17 (R1) マイナス指標設定		16.5	16.0	15.5	15.0 (R5)	%
		中止	16	100.0%	93.8%		
(4) 研修したことが児童生徒の指導に活かされていると回答する教職員の割合	85 (R1)		85.5	86.0	86.5	87.0 (R5)	%
		中止	95	110.5%	109.2%		

5 コスト情報

目的別事業群事業費 (千円)	R 年度	当初予算額		決算額		人件費
		一般財源		一般財源		
	2 年度	4,913,249	1,662,983	6,420,046	1,440,044	126,579千円
	R 年度	3,639,971		3,422,837		
	3 年度	1,403,837		1,767,898		

6 戦略を構成する事務事業

(単位：千円)

No.	款・項・目 事務事業名	所属	人役	R2 当初予算額	R3 当初予算額
				R2 決算額	R3 決算額
1-1	10・2・1及び10・3・1 小・中学校情報機器管理事業	教育総務課	3.35	421,032	384,307
				347,335	376,449
1-2	10・1・3 未来の学び推進事業	教育総務課	1.00	0	19,260
				0	17,581
1-3	10・2・2及び10・3・2 小・中学校情報教育推進事業(R元繰越)	教育総務課	0.00	443,550	0
				441,980	0
2-1	10・1・3 学校教育推進事業	指導課	0.60	142,139	69,818
				129,264	62,906
2-2	10・1・3 外国語教育推進事業	指導課	1.22	105,255	107,647
				82,786	83,240
2-3	10・1・3 学校図書館運営事業	指導課	0.20	29,790	30,020
				29,173	29,023
2-4	10・2・2及び10・3・2 小・中学校図書整備事業	指導課	0.10	14,813	14,813
				14,768	14,803
3-1	10・2・3及び10・3・3 小・中学校施設整備事業	教育総務課	3.40	3,414,839	2,549,781
				5,065,953	2,463,582
4-1	10・1・3 スクールサポートセンター運営事業	教育総務課	1.00	4,731	17,198
				12,194	8,939
4-2	10・1・3 学校の元気応援事業	指導課	1.04	40,331	42,455
				39,194	36,897
4-3	10・1・3 部活動等支援事業	指導課	0.50	27,871	28,556
				10,545	23,352
4-4	10・1・3 学校運営協議会推進事業	指導課	0.30	17,333	24,864
				16,869	22,359
4-5	10・1・3 小中一貫教育推進事業	指導課	0.90	508	3,989
				178	1,458
4-6	10・1・3 教育交流事業	教育総務課	0.25	3,022	2,981
				102	0
4-7	10・2・1及び10・3・1 小・中学校運営事業	学事課	1.81	53,493	61,402
				48,262	53,473
4-8	10・2・1及び10・3・1 小・中学校通学支援事業	学事課	1.24	95,056	174,701
				92,012	137,725
4-9	10・2・2及び10・3・2 小・中学校理科教育振興事業	教育総務課	0.30	3,303	3,304
				2,745	3,045
4-10	10・1・3 学校保健事業	学事課	2.55	96,132	103,524
				86,686	86,886
4-11	10・6・3 学校給食センター食育推進事業	学校給食センター	0.30	51	1,351
				0	1,119
合計			20.06	4,913,249	3,639,971
				6,420,046	3,422,837

7 R3事業費の分析(差額=「R3年度当初予算額」-「R3年度決算額」) ※決算額には繰越を含む。

差額	217,134千円	分析	新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴い、一部事業を中止したため。
----	-----------	----	-----------------------------------

8 R3成果指標の分析(成果指標の平均達成率)

平均達成率	101.6%	分析	学校からの要望に基づく学校運営等の支援により、目標を達成することができた。
-------	--------	----	---------------------------------------

9 取組の分析

区分	分析ポイント	概要
妥当性	取組の目的・対象・手段の設定は、社会のニーズ等を踏まえ適切であったのか。	学校の要望を把握し、それを基に事業を計画して展開することを通して、学校の教育活動を充実させることができた。
効率性	投入資源量、実施主体等を踏まえ、最も経済的・効率的な手段であったのか。	経済的かつ効果的な手段で展開することができたが、学校運営協議会推進事業においては、コスト削減の余地がある。
外的要因	外的な要因による影響はあったのか。	新型コロナウイルス感染症の感染拡大により、事業を中止したり内容を変更したりする影響があった。特に、研修の実施については大きな影響があった。

10 総合評価

総合評価	A	<総評> GIGAスクール構想、学びの変革、学校における働き方改革などを推進することにより、各学校の教育活動を充実させるとともに、学校運営を支援することができた。
------	---	--

11 今後の課題及び取組方針

<p>課題</p> <p>各学校の状況は様々であることから、学校の要望を適切に把握する必要がある。</p>	→	<p>課題を踏まえた今後の取組方針</p> <p>学校の要望に対応するために、学校運営や教育内容の状況を適切に把握するための体制を構築する。</p>
---	---	--

概要シート

まちづくり大綱	施策	目的別事業群
3 人づくり	3 高い教育力と伝統を活かした学校教育の実践	① 学校運営の支援と教育内容の充実

事業の概要			
戦略	1 学校教育の情報化を活かした未来につながる教育内容の展開	予算 403,567 千円	決算 394,030 千円
事務事業	1-1 小・中学校情報機器管理事業	予算 384,307 千円	決算 376,449 千円
内容			
1-1_小・中学校情報機器の管理			
【拡】① 校務・学習用タブレットの整備及び管理（196,351 千円）			
② 大型提示装置（電子黒板）の整備及び管理（25,815 千円）			
【拡】③ 無線LAN・校内ネットワーク機器の整備及び管理（30,433 千円）			
【成果・課題】			
<p>学校から直接インターネットに抜ける回線を整備した。これにより令和2年度の学習用端末導入時に比べ、ネットワーク環境が改善された。</p> <p>無線LANアクセスポイントの増強は、世界的な半導体不足により機器の納期が遅れたため、令和4年度に予算を繰り越し、実施する。</p>			
④ 統合サーバ・校務支援システムの運用及び管理（74,093 千円）			
【新】⑤ 家庭学習支援（通信回線・デジタルドリル）の整備及び管理（14,577 千円）			
子どもの学びの延長及びコロナ禍対策として緊急性を持って対策を講じた。			
【成果・課題】			
<p>モバイルルータ（Wi-Fi）を、必要な家庭（主として就学援助世帯）に貸与することで、コロナ禍における学校と家庭とのやり取りができる環境を整備できた。</p> <p>今後も市が通信費を負担し続けるか検討が必要である。</p>			
【新】⑥ ICT支援員業務（研修・巡回・ヘルプデスク）の委託（35,180 千円）			
急激なデジタル化へ学校が対応するために、適切な支援を実施した。			
【委託内容】 研修、機器トラブル、オンライン学習等への対応			
【委託料内訳】 単価 6,000 千円/人・年×6 人			

事業の概要			
戦略	1	学校教育の情報化を活かした未来につながる教育内容の展開	予算 403,567 千円 決算 394,030 千円
事務事業	1-2	未来の学び推進事業	予算 19,260 千円 決算 17,581 千円

内容

1-2_未来の学びの推進

① 電子百科事典の導入（7,290 千円）

児童生徒の調べ学習のデジタル化を推進するとともに、適切な資料を活用した主体的な学びを促した。

【導入内容】 デジタル教材 百科事典・学習コンテンツ

【導入対象】 市内全小中学校 49 校（小学校 34 校 中学校 15 校）

② 児童生徒の英語力向上支援ツールの充実（9,328 千円）

新学習指導要領に基づき、児童生徒の英語学習を充実させ、英語力の向上を図った。

【導入内容】 「Speaking Quest」（スピーキング・クエスト）

【導入対象】 市内小学校第 5・6 学年全児童

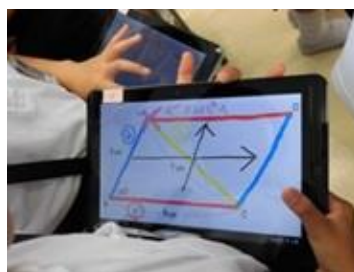
【導入内容】 「基礎英語 LEAD for student」

【導入対象】 市内全中学校生徒

③ 各種教材のデジタル化に係る大学の活用（964 千円）

大学の知見を活用して教材のデジタル化を進め、より効果的な教材活用を進めた。

【内容】 広島大学生の協力による、東広島の地歴に係る小・中学生用解説動画の作成



ICTを活用した授業の様子

【成果・課題】

電子百科事典の整備により、児童生徒が必要に応じて、主体的に調べ学習に取り組むことができた。また、小学校外国語科において、客観的なヒアリングテストを実施し、評価できるようになった。中学校外国語科において、教材準備やテスト作成時の資料として活用できる環境が整った。

また、広島大学と連携した遠隔授業は、他市町では見られない、本市の特色を生かした特長的な実践となり、コロナ禍で社会見学ができない中で、有効な学習材となった。

今後、教員の ICT 活用指導力や児童生徒の情報活用能力等を向上させ、より効果的な ICT の活用を進めていく必要がある。

事業の概要				
戦略	2	新たな教育へ対応するための校内研修の充実及び東広島教育の伝統追求	予算 222,298 千円	決算 189,972 千円
事務事業	2-1	学校教育推進事業	予算 69,818 千円	決算 62,906 千円
内容				
2-1_学校教育の推進				
① 市教育推進指定校による研究会				
【実施内容】 教育推進指定校の指定及び研究公開の実施（6校） ※うち2校は県教育研究大会を兼ねる。				
【成果・課題】				
教育推進指定校の先進的な教育研究と研究公開を支援することで、その研究成果を市内に普及することができた。今後、ICT機器の活用など新しい研究公開を工夫していくことが必要である。				
② 市教育委員会主催研修				
【実施内容】 管理職研修の実施（2回）				
【成果・課題】				
新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、全教職員研修は実施することができなかったが、管理職研修については、感染対策を講じて実施し、管理職としての資質・能力の向上に資することができた。				
③ 標準学力検査（NRT）の実施				
【実施内容】				
全小学校第2学年～第4学年（国語、算数）及び第5学年（国語、算数、理科）				
全中学校第1学年～第2学年（国語、数学、理科）				
【成果・課題】				
標準学力検査（NRT）を実施し、児童生徒の学習内容の定着状況を把握するとともに、学力向上に係る指導内容や指導方法の改善・充実を図ることができた。				
④ 体力向上応援プロジェクトの推進				
【実施内容】 体育指導力向上研修の実施（2回） 体づくり運動アプリの活用				
【成果・課題】				
新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、体育指導力向上研修は縮小しての実施となったが、体育に係る指導力の向上を図ることができた。 体づくり運動アプリは、今後、全中学校に計画的に展開することとしている。				

事業の概要

⑤ 教師用教科書及び指導書購入

【実施内容】 検定本、一般図書及び著作本、中学校デジタル教科書の配付

⑥ 社会科副読本整備

【実施内容】 社会科副読本・白地図帳の配付（各 2,150 冊）

【成果・課題】

小学校中学年の社会科における地域学習の資料として、副読本・白地図帳を印刷製本して令和 4 年度の第 3 学年及び転入児童（第 3・4 学年）に配付し、児童の学習効果を高めることができた。

事業の概要			
戦略	新たな教育へ対応するための校 2 内研修の充実及び東広島教育の 伝統追求	予算 222,298 千円	決算 189,972 千円
事務事業	2-2 外国語教育推進事業	予算 107,647 千円	決算 83,240 千円
内容			
2-2_外国語教育の推進			
① 外国語指導助手（ALT）派遣			
【実施内容】外国語指導助手（ALT）の派遣（18名） 外国語指導助手（ALT）コーディネーターの配置（1名）			
【成果・課題】			
新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、入国制限があったため、12名の新規ALTの来日となったが、合計18名のALTを全小中学校へ派遣することができ、児童生徒の英語学習への意欲向上につなげることができた。			
② 外国語指導力向上研修実施			
【実施内容】小・中学校英語教育指導者研修の実施（3回）			
【成果・課題】			
小学校の英語担当者及び中学校の英語科教員を対象とした研修を実施し、外国語教育の指導力の向上を図るとともに、小中学校における外国語教育の充実及び円滑な接続を推進することができた。			
③ 英検 I B A の実施			
【実施内容】英検 I B A の実施（中学校第2・3学年生徒）			
【成果・課題】			
中学校第2・3学年全ての生徒を対象に英検 I B A を実施し、生徒の英語力を把握するとともに、教員の英語に係る指導方法の改善につなげることができた。			
④ 丸ごと英語体験～ENGLISH Challenge Day～			
【実施内容】丸ごと英語体験～ENGLISH Challenge Day～の実施 （中学校生徒29名）			
【成果・課題】			
新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、縮小して実施したが、ALTとの交流により、参加した生徒の英語学習に対する意欲を向上させることができた。しかし、土曜日の開催で参加者が限られることから、実施方法等について改善することが必要である。			

事業の概要			
戦略	2	新たな教育へ対応するための校内研修の充実及び東広島教育の伝統追求	予算 222,298 千円 決算 189,972 千円
事務事業	2-3	学校図書館運営事業	予算 30,020 千円 決算 29,023 千円
内容			
2-3_子どもの読書活動の推進			
① 学校司書の配置 (25,131 千円)			
【実施内容】 学校司書の配置 (小学校 11 名、中学校 14 名)			
【成果・課題】			
<p>小中学校に専門的知識を有する学校司書を配置することで、学校図書館の整備や学校図書館を活用した教育の充実を図ることができた。今後も、国の基準に基づいて計画的に増員し、配置することとする。</p>			
② 学校図書館システムの活用			
【成果・課題】			
<p>システム保持業務の委託等を通して、もみじ小中学校を除く全小中学校に配備している学校図書館システム探調 TOOL の円滑な運用を図ることができ、図書利用状況を把握するとともに蔵書管理を適切に行うことができた。</p>			

事業の概要			
戦略	2	新たな教育へ対応するための校内研修の充実及び東広島教育の伝統追求	予算 222,298 千円 決算 189,972 千円
事務事業	2-4	小・中学校図書整備事業	予算 14,813 千円 決算 14,803 千円
内容			
<p>2-4_小中学校の図書整備</p> <p>① 図書の購入</p> <p>【実施内容】図書の購入（小学校 約 4,600 冊、中学校 約 2,700 冊）</p> <p>【成果・課題】</p> <p>各学校の実態に応じて図書を購入し、小中学校図書館の蔵書の充実を図ることにより、児童生徒の読書意欲を喚起し読書活動の活性化につなげることができた。</p>			

事業の概要								
戦略	3	未来的志向での学校施設整備及び長寿命化計画に基づく学校施設の大規模改修	予算 2,549,781 千円	決算 2,463,582 千円				
事務事業	3-1	小・中学校施設整備事業	予算 2,549,781 千円	決算 2,463,582 千円				
内容								
3-1_小・中学校の施設整備等								
【新】① 長寿命化計画に基づく大規模改修等に向けた設計（西条中、東西条小） （8,200 千円） 長寿命化計画に基づき、計画的に大規模改修を行うため実施設計に着手した。								
【計画概要】								
<ul style="list-style-type: none"> 令和 2 年度策定の長寿命化計画に基づき、優先度の高い学校から設計業務に着手（棟別総合劣化度上位校：西条中、東西条小） 教室不足が課題の学校は、増築も併せて検討（東西条小） 								
② 八本松小学校グラウンド整備（152,354 千円）								
	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	工事概要
造成設計								事業面積：17,396 m ² 総事業費：約 10.3 億円 R3 事業内容：6 期工事 遊具設置・駐車場整備工事 トイレ工事着手
用地取得								
グラウンド工事								
トイレ工事								
③ 川上小学校グラウンド造成（53,014 千円）								
	H30	R1	R2	R3	R4	工事概要		
造成設計						事業面積：12,454 m ² 概算総事業費：約 8 億円 R3 事業内容：造成工事着手		
用地取得								
工事								
④ 河内小中学校一体型施設整備（施設改修工事含む）（433,640 千円）								
	H30	R1	R2	R3	R4	工事概要		
基本設計						事業面積：20,800 m ² 概算総事業費：約 8.9 億円 R3 事業内容：校舎増築等工事		
建築実施設計								
造成測量設計								
用地取得								
造成工事								
建築工事等								
進入路拡幅工事								

事業の概要

⑤ 志和小中学校一体型施設整備（大規模改造工事含む）

(1,339,964 千円)

	H30	R1	R2	R3	R4	工事概要
基本設計						事業内容：増築 2,580 m ² 改修面積 3,100 m ² プール棟（メイン 250 m ² 、 サブ 80 m ² ） 自転車棟、クラブハウス棟 外構工事 1 式 総事業費：約 25 億円 R3 事業完成
建築実施設計						
造成測量設計						
用地取得						
造成工事						
建築工事等						

⑥ その他

ア 豊栄小学校プール改築工事（59,415 千円）

		R2	R3	R4	R5	R6	工事概要
豊栄小 プール	設計						事業面積：プール棟（メイン 285 m ² 、サブ 60 m ² ） 概算総事業費：約 2 億円 R3：工事着手
	工事						

イ 中黒瀬小学校校舎防水改修工事（27,717 千円）

		R2	R3	R4	R5	R6	工事概要
中黒瀬小 校舎改修	設計						防水改修面積：約 1,405 m ² 総事業費：約 0.27 億円 R3 事業内容：工事完成
	工事						

ウ 御園宇小学校屋内運動場屋根改修工事（13,720 千円）

		R2	R3	R4	R5	R6	工事概要
御園宇小 屋内運動場 屋根改修	設計						屋根改修面積：948 m ² 概算総事業費：約 0.13 億円 R3：工事完成
	工事						

【新】エ バリアフリー対策としてのEV設置設計（松賀中）（3,870 千円）

対象校における生徒の障害の実態に合わせた施設整備を行うため実施設計を行った。

		R2	R3	R4	R5	R6	工事概要
松賀中 EV 設置	設計						EV 1 基設置 概算総事業費：約 0.9 億円 R3：設計完成
	工事						

オ 個別改修等（64,118 千円）

【改修内容】

- ・高美が丘小防水改修設計及び工事
- ・西志和小校舎及びプール解体設計

事業の概要

- ・旧河内西小プール解体設計
- ・八本松小プール塗装改修設計及び工事
- ・受変電設備改修設計（御藪宇小、板城西小、乃美尾小）
- ・寺西小屋体屋根改修設計
- ・御藪宇小公共下水道接続設計
- ・東西条小給水設備改修工事
- ・トイレ洋便器化事業 など

カ 空調PFI事業（保守管理）等（73,458 千円）



八本松小学校グラウンド完成写真



河内小中学校校舎完成写真



志和小中学校校舎完成写真



豊栄小学校プール完成写真

事業の概要			
戦略	4	特色ある教育活動に対する力強いサポートと、学校教育への地域の教育力導入	予算 464,325 千円 決算 375,253 千円
事務事業	4-1	スクールサポートセンター運営事業	予算 17,198 千円 決算 8,939 千円
内容			
<p>4-1_学校業務の応援〈スクールサポートセンター業務〉</p> <p>【実施内容】 スクールサポートコーディネーターの配置（1名） スクールサポーターの派遣（450回） 学生サポーターの派遣（66回）</p> <p>【成果・課題】</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <p>退職教員等による支援活動を実施することにより、教職員の指導力の向上や学校教育力の一層の向上を図ることができた。今後、スクールサポートを更に充実させていくために、サポート体制を改善していくことが必要である。</p> </div>			

事業の概要			
戦略	4	特色ある教育活動に対する力強いサポートと、学校教育への地域の教育力導入	予算 464,325 千円 決算 375,253 千円
事務事業	4-2	学校の元気応援事業	予算 42,455 千円 決算 36,897 千円
内容			
4-2_学校の特色ある教育活動の応援			
① 学校づくりの応援			
【実施内容】 校内研修講師の派遣（大学教授、学識経験者 45 回） 和文化等講師の派遣（143 回） マイタウンティーチャーの派遣（952 回分） 教材等整備費			
【成果・課題】			
新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響により、講師が招聘できない時期もあったが、校内研修や一校一和文化学習などにおいて講師を招聘したことで、特色ある学校づくりを進めることができた。			
② 学校経営のアドバイス			
【実施内容】 学校経営アドバイザーの配置（アドバイザー主任 1 名、アドバイザー3 名）			
【成果・課題】			
学校の要請や必要に応じて学校経営アドバイザーを派遣し、校長等に指導・助言を行うことにより、安定した学校経営の推進や教職員の指導力の向上を図ることができた。			
③ 魅力ある授業の応援			
【実施内容】 教科等指導支援員の配置（7 名）			
【成果・課題】			
学習指導ができる教科等指導支援員の配置を通して、教科等における課題や特別支援学級における教科指導に対応することができたが、人材が不足しており、継続して人材の確保に取り組む必要がある。			
④ 中学校音楽会及び中学校音楽まつり開催			
【実施内容】			
中学校音楽会（11月）：全中学校（14校）から1クラス及び招待演奏校（1校）			
中学校音楽まつり：市内中学校音楽系部活動			
【成果・課題】			
新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、中学校音楽まつりは中止とした。中学校音楽会については、感染対策を講じ、内容や方法を工夫して実施し、生徒の音楽を愛好する心情や態度を育てることができた。			

⑤ 陸上・水泳記録会開催

【実施内容】

水泳記録会（中止）：標準記録を突破した市内小学校第5・6学年児童

陸上記録会（10月）：標準記録を突破した市内小学校第5・6学年児童

【成果・課題】

新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、水泳記録会については中止とした。陸上記録会については、感染対策を講じ、内容や方法を工夫して実施し、児童相互の交流を深め、児童の運動への意欲を高めることができた。

事業の概要			
戦略	4	特色ある教育活動に対する力強いサポートと、学校教育への地域の教育力導入	予算 464,325 千円 決算 375,253 千円
事務事業	4-3	部活動等支援事業	予算 28,556 千円 決算 23,352 千円
内容			
4-3_部活動等への支援			
【拡】① 大会及び団体への負担金、補助金（3,367 千円）			
【実施内容】			
中学校体育連盟への加盟金の負担			
中国中学校駅伝競走大会や小学生体育連盟の事業への補助金の補助			
② 児童・生徒の大会への派遣費補助			
【実施内容】			
中学校体育連盟及び中学校文化部連盟主催の大会等へ出場する生徒への派遣費の補助			
全国大会へ出場する児童への派遣費の補助			
③ 部活動指導員の配置（4 名）（2,063 千円）			
【実施内容】部活動指導員の配置（4 名）			
向陽中（ソフトテニス）、八本松中（陸上）、磯松中（バレーボール）、黒瀬中（軟式野球）			
【成果・課題】			
部活動指導員を配置することにより、部活動を担当する教員の負担軽減を図り、部活動の適正な実施を推進することができた。今後、部活動指導員の配置を計画的に拡充していく必要がある。			

事業の概要			
戦略	4	特色ある教育活動に対する力強いサポートと、学校教育への地域の教育力導入	予算 464,325 千円 決算 375,253 千円
事務事業	4-4	学校運営協議会推進事業	予算 24,864 千円 決算 22,359 千円
内容			
4-4_学校運営協議会（CS）推進			
① 学校運営協議会委員任用（15名×11協議会分）（420千円）			
【導入校及び導入年度】			
H30	R1	R2	R3
風早小	なし	前期：福富中・高美が丘小・中 後期：八本松小・小谷小・御菌宇小・上黒瀬小・龍王小	志和中・河内中・福富小・寺西小
※1 高美が丘小・中、福富小・中には、1中学校区に一つの学校運営協議会を設置 ※2 志和中・河内中については、小中一貫校開校と合わせ、1中学校区に一つの学校運営協議会を設置			
【成果・課題】			
令和3年度は、学校運営協議会を新たに4校設置し、計11協議会13校（小学校：9校 中学校：4校）となった。今後、令和6年度の全小・中学校への導入に向けて計画的に設置していく必要がある。			
② コミュニティ・スクール推進員の配置（11名）（21,149千円）			
【成果・課題】			
令和3年度はコミュニティ・スクール推進員を11名（継続5名、新規6名）配置した。今後、学校運営協議会の増加に伴い人員の確保に取り組む必要がある。			
③ 地域学校協働活動促進に資する原材料費活用（4校分）（790千円）			
【成果・課題】			
コロナ禍においても、地域学校協働活動を推進するための飛沫防止対策や環境整備等を行うことができた。今後、整備した環境を生かして継続的に地域学校協働活動を推進していく必要がある。			

事業の概要			
戦略	4	特色ある教育活動に対する力強いサポートと、学校教育への地域の教育力導入	予算 464,325 千円 決算 375,253 千円
事務事業	4-5	小中一貫教育推進事業	予算 3,989 千円 決算 1,458 千円
内容			
4-5_小中一貫教育（選ばれ満たされる教育活動）の推進			
① 福富地域（0 千円）			
【実施内容】アントレプレナーシップ教育、ドリームマップの作成			
【成果・課題】			
アントレプレナーシップ教育やドリームマップの作成など特色ある教育課程を作成し実施することができた。今後、実践上の課題を整理し、改善を加える必要がある。			
② 志和地域（747 千円）			
【実施内容】eSTEAM教育			
【成果・課題】			
eSTEAM教育など特色ある教育課程を作成し、試行することができた。その中で、近畿大学との連携による3Dプリンタを活用した実践を行うことができた。今後、9年間の学びが系統的なものになるように改善する必要がある。			
③ 河内地域（104 千円）			
【実施内容】地域創生プロジェクト、外国語教育、遠隔授業			
【成果・課題】			
地域創生プロジェクトや遠隔授業など特色ある教育課程を作成し、試行することができた。今後、併設・分離型の小中一貫教育としての課題を整理し、改善する必要がある。			
④ 小中学校連携事業の充実（600 千円）			
【実施内容】			
志和地域（東志和小、西志和小及び志和中）の一貫校化前交流（6回）			
河内地域（河内小、入野小及び河内中）の一貫校化前交流（4回）			
【成果・課題】			
小中一貫校化前の交流を計画的に行うことで、教育課程の円滑な開始と児童生徒の不安の解消につなげることができた。			

事業の概要			
戦略	4 特色ある教育活動に対する力強いサポートと、学校教育への地域の教育力導入	予算 464,325 千円	決算 375,253 千円
事務事業	4-6 教育交流事業	予算 2,981 千円	決算 0 千円

内容

4-6_教育交流の推進

① 北海道北広島市及び中国四川省徳陽市との交流活動実施

姉妹都市北海道北広島市及び友好都市中国四川省徳陽市との教育交流は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響から、派遣・受入は中止した。

北広島市とは、オンラインにより、お互いの学校や地域の紹介を行い、児童生徒間交流を行った。

今後は、より効果的のある交流内容への見直しを図りながら、引き続き行う。



北広島市とのオンライン交流
(地域や学校の紹介、姉妹校へ質問する様)

【成果・課題】

児童生徒の姉妹都市への理解が深まったと回答した交流校の割合:100%
(実施後の学校アンケートより)

オンライン交流は、対象学校の児童会・生徒会単位で行っているため、一部の交流となり、全体へ広まっていない。全体に情報が行きわたるように広報の工夫が必要である。

事業の概要			
戦略	4	特色ある教育活動に対する力強いサポートと、学校教育への地域の教育力導入	予算 464,325 千円 決算 375,253 千円
事務事業	4-7	小・中学校運営事業	予算 61,402 千円 決算 53,473 千円
内容			
<p>4-7_小・中学校運営の支援</p> <p>① 学校運営体制の確保</p> <p>【小学校への配置数】看護師 2 名、学校事務職 3 名、養護講師 2 名</p> <p>【中学校への配置数】講師 7 名、学校事務職 4 名</p> <p>② 関係団体への負担金及び補助金</p> <p>【負担金】</p> <p>広島県連合小学校長会、広島県公立学校校長会連合会、広島県公立中学校長会、広島県公立小・中学校事務長会、広島県小学校教育研究会、広島県中学校教育研究会</p> <p>【補助金】</p> <p>東広島市小学校教頭会、東広島市中学校教頭会、東広島市立学校教育研究会</p>			

事業の概要			
戦略	4 特色ある教育活動に対する力強いサポートと、学校教育への地域の教育力導入	予算 464,325 千円	決算 375,253 千円
事務事業	4-8 小・中学校通学支援事業	予算 174,701 千円	決算 137,725 千円
内容			
<p>4-8_小・中学生への通学支援</p> <p>【拡】① 小学校の通学支援（スクールバス・スクールタクシー運行） （111,574 千円）</p> <p>福富小学校開校に伴う通学支援及びコロナ対策による増便</p> <p>【成果・課題】</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <p>福富小学校開校に伴い、新たに3路線でスクールバスを運行したことで、遠距離通学となった児童の負担軽減を図ることができた。</p> <p>課題としては、冬の積雪（凍結）時期に運行ルートを変更する必要がある箇所があり、継続的・安定的な運行にはまだ時間がかかる見込みである。</p> </div> <p>【対象小学校区】</p> <p>板城小、西志和小、中黒瀬小、福富小、豊栄小、河内小、入野小、風早小</p> <p>② 遠距離通学児童生徒の通学費補助</p> <p>【小学校】 川上小、中黒瀬小</p> <p>【中学校】 高屋中、河内中</p> <p>③ 中学校の通学支援（スクールバス運行）（20,359 千円）</p> <p>コロナ対策による増便</p> <p>【対象中学校区】 高屋中</p> <p>④ 自転車通学生徒ヘルメット購入費の補助</p> <p>【対象者】 市内全中学校生徒（1,067 人分）</p> <p>【補助率】 7 割</p>			

事業の概要			
戦略	4	特色ある教育活動に対する力強いサポートと、学校教育への地域の教育力導入	予算 464,325 千円 決算 375,253 千円
事務事業	4-9	小・中学校理科教育振興事業	予算 3,304 千円 決算 3,045 千円
内容			
4-9_小・中学校の理科教育備品整備			
① 理科教育振興法に基づき、理科、算数、数学教育備品購入 国が定めた基準額を基に整備率の低い小・中学校を対象として、理科、算数及び数学の授業に必要な教材備品を購入し、理科教育の環境整備を図った。			
	対象校	購入教材備品	事業費
小学校	7校	気体採取器ほか	1,928 千円
中学校	4校	双眼実体顕微鏡ほか	1,118 千円

事業の概要			
戦略	4 特色ある教育活動に対する力強いサポートと、学校教育への地域の教育力導入	予算 464,325 千円	決算 375,253 千円
事務事業	4-10 学校保健事業	予算 103,524 千円	決算 86,886 千円
内容			
4-10_学校保健の推進			
① 各種健康診断及び各種学校環境衛生検査の実施			
【健康診断実施内容】			
・ 児童生徒等の健康診断 (内科検診、歯科検診、眼科検診、耳鼻科検診、結核検診、尿検査、心音心電図検査)			
・ 就学時の健康診断			
・ 教職員の健康診断、ストレスチェック			
【学校環境衛生検査実施内容】			
・ 空気中の化学物質濃度検査			
・ プール水及び飲料水水質検査			
・ 教室等の環境検査			
② 各種保険等への加入及び関係団体への補助金交付、研修等参加助成			
【加入保険】			
・ 日本スポーツ振興センター災害共済			
・ 全国市長会学校災害賠償補償保険			
【負担金】			
・ 日本スポーツ振興センター			
・ 広島県学校保健会			
・ 衛生推進者・管理者等養成講習会参加費			
【補助金】			
東広島市学校保健会			

事業の概要			
戦略	4 特色ある教育活動に対する力強いサポートと、学校教育への地域の教育力導入	予算 464,325 千円	決算 375,253 千円
事務事業	4-11 学校給食センター食育推進事業	予算 1,351 千円	決算 1,119 千円
内容			

4-11_学校給食センターの食育推進

① 学校給食カレーの商品化

給食センターで提供しているカレーを商品化し、家庭で家族と一緒に学校の給食を食べ、給食や食についての関心を高めてもらうことにより、家庭における食育の推進を図った。

【委託内容】学校給食レトルトカレー1,800食分を開発・製造（市内の野菜（ジャガイモ）使用）



試食をする西条農業高校の生徒

② 栄養士が各小中学校で実施する食育に係る経費

【実施内容】児童生徒を対象とした小中学校での食に関する指導等

【実施時期】通年

【実施回数】306回（小学校217回、中学校89回）



小学校での食に関する指導の様子

6 戦略を構成する事務事業

(単位：千円)

No.	款・項・目 事務事業名	所属	人役	R2 当初予算額	R3 当初予算額
				R2 決算額	R3 決算額
1-1	10・1・3 特別支援教育推進事業	指導課	1.64	7,716	8,048
				6,229	6,660
1-2	10・2・2及び10・3・2 小・中学校教育支援者配置事業	指導課	0.80	285,055	342,201
				256,784	302,797
2-1	10・1・3 外国につながる児童生徒への教育推進事業	指導課	0.30	4,970	7,110
				3,274	4,122
3-1	10・2・2及び10・3・2 小・中学校就学支援事業	学事課	2.08	174,939	195,957
				149,975	174,900
合計			4.82	472,680	553,316
				416,262	488,479

7 R3 事業費の分析 (差額 = 「R3 年度当初予算額」 - 「R3 年度決算額」) ※決算額には繰越を含む。

差額	分析
64,837千円	教育支援者の配置において、年度途中で定員を満たしていない状況が生じたため。

8 R3 成果指標の分析 (成果指標の平均達成率)

平均達成率	分析
100.0%	特別なニーズに対応した教育を提供することにより、目標を達成することができた。

9 取組の分析

区分	分析ポイント	概要
妥当性	取組の目的・対象・手段の設定は、社会のニーズ等を踏まえ適切であったのか。	特別な支援を要する児童生徒や外国につながる児童生徒のニーズを把握することを通して、必要な支援を行うことができた。
効率性	投入資源量、実施主体等を踏まえ、最も経済的・効率的な手段であったのか。	経済的な理由によって就学困難と認められる学齢児童生徒の保護者に対して、個々の状況を把握しながら適切に就学援助等を行っている。 また、児童生徒の実態や各学校からの配置希望等を基に適切に教育支援者の配置を行っている。
外的要因	外的な要因による影響はあったのか。	新型コロナウイルス感染症の拡大防止による入国制限があったため、初期指導教室に入級した児童生徒の数が限られた。

10 総合評価

総合評価	<総評>
A	各学校や児童生徒の実態を踏まえ、特別支援教育や日本語指導に係る支援者の配置、指導力の向上を図るための担当者研修を実施したことにより、特別なニーズに対応した教育を展開することができた。

11 今後の課題及び取組方針

課題	課題を踏まえた今後の取組方針
特別な支援を要する児童生徒や外国につながる児童生徒のニーズを適切に把握し、引き続き、支援体制の充実を図る必要がある。	特別なニーズに対応するために児童生徒や保護者の状況を適切に把握し、効果的な支援体制や関係機関との連携体制を構築する。

概要シート

まちづくり大綱	施策	目的別事業群
3 人づくり	3 高い教育力と伝統を活かした学校教育の実践	② 特別なニーズに対応した教育の充実

事業の概要			
戦略	1 特別な支援を要する児童生徒への教育推進	予算 350,249 千円	決算 309,457 千円
事務事業	1-1 特別支援教育推進事業	予算 8,048 千円	決算 6,660 千円
内容			
1-1_特別支援教育の推進			
① 特別支援教育サポーター及び特別支援教育大学生サポーターの派遣			
【実施内容】 特別支援教育サポーターの派遣 (2,867 時間) 特別支援教育大学生サポーターの派遣 (393 回)			
【成果・課題】			
特別支援教育サポーター等を派遣し、通常の学級や特別支援学級に在籍する発達障害のある児童生徒の学習支援等を行うことができた。派遣の要望が高まっており、今後、計画的に派遣することが必要である。			
② 特別支援教育担当者会及び巡回相談の実施			
【実施内容】 特別支援学級担当者等研修の実施 (3 回)			
【成果・課題】			
特別支援教育担当者を対象とした研修を実施し、特別支援教育の専門性を高め、指導力を向上させることができた。今後も、継続して実施することが必要である。			
【実施内容】 巡回相談の実施 (18 回)			
【成果・課題】			
巡回相談の実施により、発達障害のある児童生徒の理解及び指導や支援の向上を図ることができた。今後は、学校からの要望の増加を受け、相談員の確保に努めるとともに、助言を効果的に支援に結び付けることが必要である。			
③ 特別支援教育相談員の配置			
【実施内容】 特別支援教育相談員の配置 (1 名)			
【成果・課題】			
特別支援教育相談員の配置により、障害のある幼児児童生徒の教育相談及び教育支援委員会を充実させることができた。今後、特別支援教育相談員による巡回相談等を充実させる必要がある。			

事業の概要			
戦略	1 特別な支援を要する児童生徒への教育推進	予算 350,249 千円	決算 309,457 千円
事務事業	1-2 小・中学校教育支援者配置事業	予算 342,201 千円	決算 302,797 千円
内容			
1-2_小・中学校教育支援者の配置			
① 教育補助員の配置			
【実施内容】教育補助員の配置 87 名（小学校 62 名、中学校 25 名）			
【成果・課題】			
<p>教育補助員を小学校に 4 名、中学校に 3 名増員して配置し、特別支援学級に在籍する児童生徒の学習や生活の支援を行うことができた。年度途中で定員を満たしてない状況もあったが、公募により定員を満たすことができた。今後も継続して人材の確保に努める必要がある。</p>			
② 学校教育支援員の配置			
【実施内容】学校教育支援員の配置 42 名（小学校 30 名、中学校 12 名）			
【成果・課題】			
<p>学校教育支援員を小学校に 2 名増員して配置し、通常の学級に在籍する児童生徒の多様な課題に対応することができた。年度途中で定員を満たしてない状況があったが、公募により定員を満たすことができた。今後も継続して人材の確保に努める必要がある。</p>			

事業の概要				
戦略	2	外国につながる児童生徒への教育推進	予算 7,110 千円	決算 4,122 千円
事務事業	2-1	外国につながる児童生徒への教育推進事業	予算 7,110 千円	決算 4,122 千円
内容				
2-1_外国につながる児童生徒への教育推進				
【拠】① 日本語指導教育の充実 (2,439 千円)				
【実施内容】 日本語指導拠点校の設置 (1 校) 学校教育支援員の配置 (1 名) 日本語指導ボランティアの派遣				
【成果・課題】				
龍王小学校を拠点校とし、広島大学と連携して日本語指導に係る研究を推進することができた。今後、研究成果を市内に普及し、本市における日本語指導教育の充実を図る必要がある。				
【拠】② 初期指導教室の設置 (1,408 千円)				
【実施内容】 初期指導教室の設置 指導員の派遣 (6 名)				
【成果・課題】				
令和 3 年度は、初期指導教室で 26 名の児童生徒が日本語を学び、学校へ編入することができた。今後は、日本語指導が必要な全ての児童生徒が日本語初期指導を受けられるよう体制を検討する必要がある。				
③ 通訳者・支援員の派遣				
【実施内容】 通訳者の派遣 (30 回)				
【成果・課題】				
通訳者を派遣し、日本語の理解が十分ではない保護者に対して、児童生徒の学校生活での様子を伝えた。児童生徒が安心して学校生活を送ることができるようにすることができた。				
④ 指導者研修の実施				
【実施内容】 日本語指導学級担当者研修の実施 (1 回)				
【成果・課題】				
日本語指導学級担当者等を対象に研修を実施し、外国につながる児童生徒への理解や日本語指導の指導力の向上を図ることができた。今後は、対象を広げて、日本語指導教育の充実を図る必要がある。				

事業の概要			
戦略	3	学校教育における学力保障、福祉関係機関等との連携強化	予算 195,957 千円 決算 174,900 千円
事務事業	3-1	小・中学校就学支援事業	予算 195,957 千円 決算 174,900 千円
内容			
3-1_小・中学校の就学支援 ① 経済的理由により就学が困難と認められる児童・生徒の保護者への学用品費等の支給 ② 特別支援学級に在籍する児童・生徒の保護者への学用品費等の支給			

令和 3 年度 目的別事業群総括管理 (決算) シート

1 第五次東広島市総合計画に掲げる施策

まちづくり大綱	3 人づくり	施策	3 高い教育力と伝統を活かした学校教育の実践
施策の将来の目標像	すべての子どもたちが「確かな学力」、「豊かな心」、「健やかな体」を育む教育を受けられ、青少年が将来に夢と希望をもち、主体性と創造性をもった人間として健やかに成長し、活動していくことができる安全・安心な社会環境が整っています。		
施策の数値目標	指標	現状値 (H29年度)	目標値 (R6年度)
	全国学力・学習状況調査結果における正答率40%未満の児童の割合	11%	9%以下
	全国学力・学習状況調査結果における正答率40%未満の生徒の割合	17%	15%以下

2 目的別事業群の概要

目的別事業群名	③ 地域と連携した青少年健全育成の環境づくり	主管部局・所属	学校教育部 指導課
関係部局・所属	生涯学習部 青少年育成課	生涯学習部	生涯学習課

3 目指す姿と戦略

目指す姿	地域及び関係諸機関との連携体制が整い、青少年の健全な育成が図られる	現状	全国や県に比して良好な傾向ではあるが青少年問題の課題は増加し、憂慮される	
	課題	仮説に基づく戦略	寄与度	戦略No.
	個々の児童生徒の状況に対応するための校内の仕組づくりが十分とは言えない。	個に応じた生徒指導の充実	高	1
	家庭教育充実に資する保護者への啓発活動推進が十分とは言えない。	安全・安心に過ごせる児童生徒の居場所づくり	低	2
	子どもと地域住民とのつながりや、地域で子どもが活動できる場が求められている。	地域学校協働活動の推進と児童の放課後活動の充実	低	3

4 成果指標

成果指標	初期値 (年度)		目標値及び実績値			終期目標値 (年度) 達成率	単位
			R2	R3	R4		
(7) 不登校児童生徒数	222 (R1) マイナス指標設定	上段：目標値 中段：実績値 下段：達成率	215	210	205	200 ()	人
			212	308		64.9%	
			101.4%	68.2%			
(4) スクールソーシャルワーカーの取組での改善率	83 (R1)		83.5	84.0	84.5	85 ()	%
			94	93		109.4%	
			112.6%	110.7%			
(5) いじめ解消率	75 (R1)		77	78	79	80 ()	人
			77	65			
			100.0%	83.3%		81.3%	

5 コスト情報

目的別事業群事業費 (千円)		当初予算額		決算額		人件費
		一般財源		一般財源		
R2年度			61,967		49,042	24,420千円
			55,997		46,250	
R3年度			65,394		51,488	
			58,145		49,418	

6 戦略を構成する事務事業

(単位：千円)

No.	款・項・目 事務事業名	所属	人役	R2 当初予算額	R3 当初予算額
				R2 決算額	R3 決算額
1-1	10・1・3 生徒指導推進事業	指導課	1.10	39,465	44,187
				34,587	38,433
2-1	10・5・1 青少年健全育成事業	青少年育成課 指導課	1.29	10,917	8,228
				8,261	7,310
2-2	10・5・1 青少年健全育成団体支援事業	青少年育成課	0.67	2,696	2,409
				2,009	2,299
3-1	10・5・1 地域学校協働活動推進事業	生涯学習課 青少年育成課	0.81	8,889	10,570
				4,185	3,446
合計			3.87	61,967 49,042	65,394 51,488

7 R3事業費の分析(差額=「R3年度当初予算額」-「R3年度決算額」) ※決算額には繰越を含む。

差額	分析
13,906千円	新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴い、一部事業を中止したため。

8 R3成果指標の分析(成果指標の平均達成率)

平均達成率	分析
87.4%	不登校等児童生徒の支援として校内特別支援教室の整備やスクールソーシャルワーカーの派遣等を行うことで改善した児童生徒はいたが、不登校児童生徒数の減少には至らなかった。

9 取組の分析

区分	分析ポイント	概要
妥当性	取組の目的・対象・手段の設定は、社会のニーズ等を踏まえ適切であったのか。	児童生徒や学校の状況を踏まえ、不登校等児童生徒に対する取組を行い個々の状態に改善はみられたが、不登校等児童生徒数の減少には至らなかった。 地域の団体や有志と連携して、子どもたちへ様々な体験を提供したり、啓発を行うなど青少年の健全育成に資する各種事業を実施したことは適切であった。
効率性	投入資源量、実施主体等を踏まえ、最も経済的・効率的な手段であったのか。	学校や不登校等の児童生徒の状況に応じて、校内特別支援教室の設置やスクールソーシャルワーカーの派遣等を行っている。
外的要因	外的な要因による影響はあったのか。	不登校児童生徒の増加については、新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴う休校、社会的な価値観の変化、家庭環境の変化等、児童生徒をとりまく環境の変化が影響していると思われる。また、新型コロナウイルス感染症の感染拡大への対策により、一部の事業において実施回数の減少やイベントの中止があった。

10 総合評価

総合評価	<総評>
B	不登校児童生徒に対する取組により改善がみられた事例は増加しているが、児童生徒をとりまく環境の変化などの影響もあり、不登校児童生徒数の減少には至らなかった。

11 今後の課題及び取組方針

課題	課題を踏まえた今後の取組方針
不登校児童生徒の状況は様々であり、個に応じた支援をより充実させる必要がある。 青少年の健全育成の促進に向けた事業を進めているが、よりニーズに沿った内容とする必要がある。	校内特別支援教室の拡充、心のサポーターやスクールソーシャルワーカーの拡充など学校と関係機関の連携を密にし、個に応じた支援を充実させる。 児童・生徒が放課後等においてより充実した時間を過ごせる居場所づくりに取り組む。

概要シート

まちづくり大綱	施策	目的別事業群
3 人づくり	3 高い教育力と伝統を活かした学校教育の実践	③ 地域と連携した青少年健全育成の環境づくり

事業の概要					
戦略	1 個に応じた生徒指導の充実	予算	44,187 千円	決算	38,433 千円
事務事業	1-1 生徒指導推進事業	予算	44,187 千円	決算	38,433 千円
内容					
1-1_生徒指導の推進					
【拡】① 個別支援の充実（18,709 千円）					
ア 校内特別支援教室（スペシャルサポートルーム（SSR））の設置					
【実施内容】校内特別支援教室の設置（中学校 3 校、小学校 3 校）					
イ 担当者（心のサポーター）の配置					
【実施内容】担当者（心のサポーター）の配置					
〈SSR 設置校〉 全日 6 時間					
〈SSR 未設置校〉 小学校 1 日 4 時間で隔週 1 日から毎週 1 日					
中学校 1 日 4 時間で毎週 2 日から 3 日					
【成果・課題】					
SSR の設置や心のサポーターの配置により、不登校等児童生徒の登校状況の改善がみられたが、不登校の要因が多様化し、不登校等児童生徒数も増加しており、更なる支援の充実が必要である。					
【拡】② 教育相談・家庭支援の充実（8,880 千円）					
【実施内容】スクールソーシャルワーカーの派遣（5 名 2,239 時間）					
〈臨床心理士〉 1 日（5.5 時間）×週 2 日					
〈社会福祉士等〉 1 日（5.5 時間）×週 6 日					
【成果・課題】					
SSW の派遣により、個に応じた支援や関係機関との連携を行うことができ、不登校等児童生徒の登校状況の改善がみられたが、学校だけでは解決が困難なケースが増加しており、更なる派遣の増加が必要である。					
③ 校外適応指導教室（フレンドスペース）の設置					
【実施内容】校外適応指導教室の設置（西条、黒瀬、豊栄）					
指導員の配置（7 名）					
【成果・課題】					
校外適応指導教室に通室することで、学校への復帰や学校との併用で登校を継続できた児童生徒もいた。不登校等児童生徒の学びの選択肢の一つとして、校外適応指導教室の利用を学校と連携して促すことも必要である。					

④ 教職員の生徒指導力向上

【実施内容】 生徒指導主事等研修の実施（1回）
生徒指導教育研究実践校の指定（1校）

【成果・課題】



生徒指導主事等を対象とした研修を実施し、教職員の生徒指導力の向上を図ることができた。今後も、学校や児童生徒の実態に応じたテーマを設定し、継続して実施することが必要である。

⑤ いじめ防止に向けた取組

【実施内容】 いじめ防止に向けた児童会・生徒会の取組支援

【成果・課題】

児童会や生徒会が中心となり、いじめ防止に向けた標語やスローガンの作成などの取組を行ったことで、児童生徒のいじめ防止の意識を高めることができた。今後も、継続して支援することが必要である。

事業の概要			
戦略	2 安全・安心に過ごせる児童生徒の居場所づくり	予算 10,637 千円	決算 9,609 千円
事務事業	2-1 青少年健全育成事業	予算 8,228 千円	決算 7,310 千円
内容			
2-1_青少年健全育成を支える環境づくり			
① 児童青少年センターの充実			
ア 児童青少年総合相談室の設置			
【カウンセラー配置】 毎週火・金曜日 13時から16時			
【教育相談員配置】 毎週水・木・土・日曜日 10時30分から17時			
【児童厚生員配置】 毎週火・木・日曜日 10時30分から17時			
イ 児童生徒等の異年齢集団による活動			
【活動内容】			
・ゆーすふる・チャレンジャー			
・親子わくわく講座			
【成果・課題】			
児童青少年総合相談室では、幼児や高校生の保護者の相談もあり小中学校以外の青少年に関わる相談等にも応じることができ、相談者の心の健康につなげることができた。			
ゆーすふる・チャレンジャーは、中学生から大学生まで47名の登録があった。課題としては、自主的、主体的な活動を目指しているものの、出席率が低く活動の趣旨が十分に理解できていない参加者が見受けられる。			
親子わくわく講座は、年間12回の計画に対し、7回の開催にとどまった。課題としては、多くの講座にキャンセル待ちが発生する一方、何度も参加する者がいるケースがあり、参加希望者の中で偏りが生じている。			
			
ゆーすふる・チャレンジャー		親子わくわく講座	
② 地域の安全・安心の推進			
ア 青少年指導員による巡視活動			
【指導員数】 9人			
【活動時間】 1,884時間			
イ スクールガードリーダー派遣			
【派遣人数】 6人			
【活動状況】 安全対策に関する指導助言 30回			
犯罪防止教室 30校			

事業の概要

ウ 学校安全ボランティアによる見守り活動

【学校安全ボランティア登録数】 14,361人

エ 青少年問題協議会の開催

【成果・課題】

青少年指導員による街頭などでの巡視及び声かけにより、東広島警察署管内の不良行為少年数の減少（R2年度177人⇒R3年度158人）に効果があった。

新型コロナウイルス感染症の感染拡大により、犯罪防止教室の実施が少なくなった。対応策の検討が必要である。

青少年問題協議会は、1回開催する予定であったが、開催できなかった。課題としては、青少年を取り巻く状況が、非行から複雑化（虐待、発達障害、いじめ、不登校、引きこもりなど）かつ見えにくくなってきており、当協議会での意見を適切に反映できるしくみが必要である。

事業の概要			
戦略	2 安全・安心に過ごせる児童生徒の居場所づくり	予算 10,637 千円	決算 9,609 千円
事務事業	2-2 青少年健全育成団体支援事業	予算 2,409 千円	決算 2,299 千円

内容

2-2_青少年健全育成団体の支援

青少年が豊かな創造力と自主性を持った社会の一員となるよう、青少年健全育成の活動団体へ財政支援を行うことにより、各団体の啓発活動が促進された。

- ① 青少年育成東広島市民会議
- ② “社会を明るくする運動” 東広島推進委員会
- ③ 市女性連合会
- ④ 市PTA連合会



【成果・課題】

各団体の啓発活動により、東広島警察署管内の非行少年の検挙・補導数の減少（R2年度 38人⇒R3年度 24人）に効果があった。

課題としては、高齢化や後継者となる新規加入者数の減少により、一部の団体において活動が思うように進まない状況が生じている。



青少年健全育成団体の活動の様子

事業の概要				
戦略	3	地域学校協働活動の推進と児童の放課後活動の充実	予算 10,570 千円	決算 3,446 千円
事務事業	3-1	地域学校協働活動推進事業	予算 10,570 千円	決算 3,446 千円
内容				
3-1_地域学校協働活動の推進				
① 放課後子供教室の実施（3,303 千円）				
地域と学校の連携・協働のもと、幅広い地域住民が参画し、地域全体で未来を担う子供たちの成長を支え、地域の交流を促進した。				
【実施した教室数】 15 教室				
【スタッフ数】 コーディネーター21 人 学習アドバイザー・安全管理員 170 人				
【実施回数】 217 回				
【成果・課題】				
<p>放課後等において、学習や様々な体験・交流活動の機会をのべ 4,301 人の子どもたちに提供した。</p> <p>課題としては、スタッフの高齢化によって運営に支障をきたしていることから、活性化を目的とした青少年の企画・運営への参加促進である。</p>				
				
		工作活動		
				
		スポーツ活動		
② 地域学校協働活動体制の構築（143 千円）				
地域と学校をつなぐ地域学校協働活動推進員をコミュニティ・スクール導入校に配置し、地域学校協働活動の企画・連絡調整を行った。				
【推進員数】 10 人				
【成果・課題】				
<p>地域学校協働活動推進員を 10 人配置し、学校との情報共有など、それぞれの活動に取り組み始めた。</p> <p>課題としては、地域と学校の連携による活動の充実に向けた取り組みについて、計画的に実施できる体制を構築する必要がある。</p>				
【コミュニティ・スクール導入校及び導入年度】				
H30	R1	R2		R3
風早小	なし	前期：福富中・高美が丘小・中 後期：八本松小・小谷小・御園宇小・上黒瀬小・龍王小		志和中・河内中・福富小・寺西小
※ 高美が丘小・中、福富小・中には、1 中学校区に一つの学校運営協議会設置				

令和 3 年度 目的別事業群総括管理 (決算) シート

1 第五次東広島市総合計画に掲げる施策

まちづくり大綱	3 人づくり	施策	4 新たな価値を創造する人材の育成
施策の将来の目標像	多くの子どもたちが最先端技術に関心を持ち、行政と地域の大学や試験研究機関、企業等が連携し、質の高い学びの機会が提供されています。		
施策の数値目標	指標	現状値 (R 1 年度)	目標値 (R 6 年度)
	「授業によって、自ら課題を設定し、その解決に向けて友達と協力し、解決する力を高められている」と回答した児童・生徒の割合	—	80%以上

2 目的別事業群の概要

目的別事業群名	① 理科系教育分野等の教育内容の充実	主管部局・所属	学校教育部	指導課
関係部局・所属				

3 目指す姿と戦略

目指す姿	世界基準で活躍できる人材育成に根差した教育が学校内外で行われ、児童生徒の理数系教育への興味関心が高まる	現状	理数系教育への関心・意欲が高いとは言えず、理科・算数・数学の高水準学力を維持することが懸念される。	
	課題	仮説に基づく戦略	寄与度	戦略No.
	理数教育の魅力強く感じられるような授業が十分にできているとは言えない	子どもたちの理数系教育分野への興味・関心醸成	中	1

4 成果指標

成果指標	初期値 (年度)		目標値及び実績値			終期目標値 (年度) 達成率	単位
			R2	R3	R4		
(7) 「全国学力・学習状況調査」の理科・算数・数学において、全国平均を上回る学校の割合	85 (R 1)	上段：目標値 中段：実績値 下段：達成率	85.5	86.0	86.5	87.0 (R 5)	%
			中止	65		75.1%	
				75.9%			
(4) 講座参加者の学習満足度	95 (R 1)		100	100	100	100 (R 5)	%
			88	95		94.6%	
(7) 理科アシスタント配置校における理科を好きな児童の割合	92 (R 1)		93	94	95	95 (R 5)	%
			92	92		96.8%	
			98.9%	97.9%			

5 コスト情報

目的別事業群事業費 (千円)	R 年 2 度	当初予算額		決算額		人件費
		一般財源		一般財源		
			16,310		10,260	3,786千円
			15,934		10,176	
	R 年 3 度		11,204		3,316	
			10,841		3,093	

概要シート

まちづくり大綱	施策	目的別事業群
3 人づくり	4 新たな価値を創造する人材の育成	① 理科系教育分野等の教育内容の充実

事業の概要			
戦略	1 子どもたちの理数系教育分野への興味・関心醸成	予算 11,204 千円	決算 3,316 千円
事務事業	1-1 科学の芽育成事業	予算 11,204 千円	決算 3,316 千円
内容			
1-1_児童生徒の科学の芽育成			
① 児童生徒への科学の芽育成講座 (1,513 千円)			
ア 科学の芽育成講座の開催			
【実施内容】 科学の芽育成講座の開催 (小学校 11 校 24 学級、中学校 1 校 1 学級)			
【成果・課題】			
<p>新型コロナウイルス感染症拡大の影響により中止となった学校もあったが、講座の開催により児童生徒の科学に対する興味・関心を高めることができた。今後は、講座の成果を周知し、より多くの学校での実施に取り組んでいくことが必要である。</p>			
② めざせ！未来のノーベル賞 科学の芽成長プロジェクト (1,133 千円)			
ア 年間を通じた科学研究の実施(めざせ！未来のノーベル賞プロジェクトチーム)(上級コース)			
【実施内容】 プログラミングによるものづくり (4 回、小学校第 5 学年～中学校第 3 学年 20 名)			
イ 科学に対する興味・関心を高める講座の実施(中級コース)			
【実施内容】 ロボホンプログラミング教室 (1 回、小学校第 5・6 学年 11 名)			
ウ 親子おもしろ科学実験講座(初級コース)			
【実施内容】 親子で楽しめる科学実験講座(中止)			
エ 科学に対する興味・関心を高める講演の実施			
【実施内容】 科学の芽育成講演会(中止)			
【成果・課題】			
<p>新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、多くの講座が縮小又は中止となった。科学の芽成長プロジェクトについては、今後、大学や企業と調整し、科学の芽育成講座に統合することにより、より多くの児童生徒を対象とし、科学の芽を育成していくこととする。</p>			



上級コースの連続講座

事業の概要

③ 理科観察実験アシスタントの配置 (670 千円)

【実施内容】 理科観察実験アシスタントの配置 (7 人)

【成果・課題】

新型コロナウイルス感染症拡大の影響により配置期間が短縮となったが、理科観察実験アシスタントの配置により、小学校の理科の授業における観察や実験を充実させることができた。人材が不足しており、今後も継続して人材の確保に取り組む必要がある。

令和 3 年度 目的別事業群総括管理 (決算) シート

1 第五次東広島市総合計画に掲げる施策

まちづくり大綱	3 人づくり	施策	4 新たな価値を創造する人材の育成
施策の将来の目標像	多くの子どもたちが最先端技術に関心を持ち、行政と地域の大学や試験研究機関、企業等が連携し、質の高い学びの機会が提供されています。		
施策の数値目標	指標	現状値 (R 1 年度)	目標値 (R 6 年度)
	「授業によって、自ら課題を設定し、その解決に向けて友達と協力し、解決する力を高められている」と回答した児童・生徒の割合	—	80%以上

2 目的別事業群の概要

目的別事業群名	② 子どもの興味・関心及び創造性を伸ばす教育の充実	主管部局・所属	生涯学習部 生涯学習課
関係部局・所属	生涯学習部	文化課	

3 目指す姿と戦略

目指す姿	市内大学・試験研究機関等との連携により、子どもの興味・関心及び創造性を伸ばす教育の充実が図られている	現状	子どもの興味・関心及び創造性を伸ばす教育の提供が十分ではない	
	課題	仮説に基づく戦略	寄与度	戦略No.
	児童が参加しやすい講座を提供する必要がある。	創造性豊かな子どもの育成につながる学びの充実	高	1
	大学、試験研究機関等との連携を強化する必要がある。	子どもの興味・関心と創造性を伸ばす講座の充実	低	2

4 成果指標

成果指標	初期値 (年度)		目標値及び実績値			終期目標値 (年度) 達成率	単位
			R2	R3	R4		
(7) 出前美術館・博物館、芸術体験事業の満足度の割合	85 (R1)	上段：目標値 中段：実績値 下段：達成率	87	88	89	90 (R4)	%
			100	100		111.1%	
			114.9%	113.6%			
(4) 市内小学生(5年生)が「理科の勉強は好き」と感じている割合	88.2 (R1)		88.5	89.0	89.5	90 (R6)	%
			0	83.6		92.9%	
(4)	()					()	

5 コスト情報

目的別事業群事業費 (千円)	R 年度	当初予算額		決算額		人件費
		一般財源		一般財源		
	2 年度		2,764		1,386	9,591千円
			2,764		1,386	
	3 年度		4,241		1,114	
			4,241		1,114	

6 戦略を構成する事務事業

(単位：千円)

No.	款・項・目 事務事業名	所属	人役	R2 当初予算額	R3 当初予算額
				R2 決算額	R3 決算額
1-1	10・5・2 文化芸術体験事業	文化課	1.15	2,629	4,105
				1,283	1,009
2-1	10・5・2 豊かな学び創造事業	生涯学習課	0.37	135	136
				103	105
合計			1.52	2,764 1,386	4,241 1,114

7 R3 事業費の分析 (差額 = 「R3 年度当初予算額」 - 「R3 年度決算額」) ※決算額には繰越を含む。

差額	3,127千円	分析	新型コロナウイルス感染症拡大により、実施回数が減少したため。
----	---------	----	--------------------------------

8 R3 成果指標の分析 (成果指標の平均達成率)

平均達成率	103.8%	分析	新型コロナウイルス感染症拡大により、実施回数が減少したものの、参加者の満足度は高かった。
-------	--------	----	--

9 取組の分析

区分	分析ポイント	概要
妥当性	取組の目的・対象・手段の設定は、社会のニーズ等を踏まえ適切であったのか。	地域の知的財産である研究施設や本市独自の施設等を活用し、子どもたちが日常では経験できないような講座等を開催したことで、満足度も高く、適切であった。
効率性	投入資源量、実施主体等を踏まえ、最も経済的・効率的な手段であったのか。	はじめてビジュツカンでは、学校からの移動手段は学校に近いバス会社との契約により経費削減に努めた。 大学等との連携により、研究施設を無償で活用することができた。
外的要因	外的な要因による影響はあったのか。	新型コロナウイルス感染症拡大により、一部活動が制限されたため、実施回数が減少した。

10 総合評価

総合評価	A	<総評>
		地域の大学や試験研究機関等と連携したり、文化芸術など本物に触れる機会を設けることにより、質の高い学びの場を提供することができ、参加者の満足度も高かった。

11 今後の課題及び取組方針

課題	課題を踏まえた今後の取組方針
<ul style="list-style-type: none"> ●スペースクラブにおいては、定員を超える応募があり、抽選となり、すべての希望者が参加できなかった。 ●文化芸術体験では、運営スタッフが不足している。 	<ul style="list-style-type: none"> ●回数を増やすなど、希望者に学びの機会を提供できるよう工夫する。 ●引き続きボランティアスタッフの育成等、人員確保に努めていく。

概要シート

まちづくり大綱	施策	目的別事業群
3 人づくり	4 新たな価値を創造する人材の育成	② 子どもの興味・関心及び創造性を伸ばす教育の充実

事業の概要				
戦略	1	創造性豊かな子どもの育成につながる学びの充実	予算 4,105 千円	決算 1,009 千円
事務事業	1-1	文化芸術体験事業	予算 4,105 千円	決算 1,009 千円

内容

1-1_文化芸術体験の振興

① 文化芸術体験の振興 (1,009 千円)

ア 出前美術館 (うち 47 千円)

美術館所蔵作品の図版等を活用した鑑賞教材等を用いたり、実際に教材を作成するなど子どもたちが楽しんで美術に触れる機会を提供した。

- ・市内小中学校：3 校



版画かるた制作の様子

イ 出前博物館 (うち 28 千円)

出土文化財や民具等を学校に持参し、見て触ってその質感を体験することで郷土の歴史や文化・文化財への興味を醸成した。

- ・市内小学校：4 校
(コロナ対応により 1 校中止)



石器による裁断体験の様子

ウ はじめてビジュツカン (うち 934 千円)

市内の小学生を美術館に招待し、実際に本物の美術作品に触れることで、子どもたちに興味・関心を持つ機会を提供し、また感性を養う機会を設けた。

- ・市内小学 4 年生：17 校
(コロナ対応により 3 校中止)



美術館での美術作品鑑賞体験

【成果・課題】

目標値 42 校 (ア 3、イ 6、ウ 33) に対し、応募校 24 校 (ア 3、イ 4、ウ 17) からは高評価を得て、本物に触れる体験学習の場を提供した。課題としては、大規模校ではすべての児童に十分な体験時間がなかったため、時間配分や教材に工夫が必要である。

事業の概要				
戦略	2	子どもの興味・関心と創造性を伸ばす講座の充実	予算 136 千円	決算 105 千円
事務事業	2-1	豊かな学び創造事業	予算 136 千円	決算 105 千円

内容

2-1_豊かな学びの創造 (105 千円)

①ひがしひろしまスペースクラブの実施

宇宙や天体について科学的な興味や関心を高める場を提供し、天体や宇宙の様々な現象 (例: 部分月食等) について学び、実際に観測する機会を提供した。

【対象】小学生

【参加人数】60 人

【実施回数】7 回 (連続講座 6 回 (コロナ対応により 2 回中止)
特別講座 1 回)

【成果・課題】

受講者募集について、25 人の定員に対し、約 2 倍の応募があったため、特別講座も企画し、学習の機会を提供した。講座実施後のアンケートでは、58%の受講者が理科の勉強が好きになったと回答しており、さらに科学的な興味・関心が高まるような内容や機会の提供に取り組んでいく。

②東広島天文台観望会の開催

広島大学と共催し、東広島天文台で特別観望会の開催を予定していたが、新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、全て中止となった。

【対象】市民

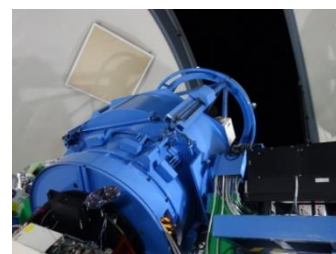
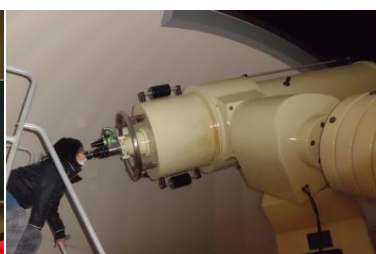
【実施回数】0 回 (コロナ対応により全て中止)

【成果・課題】

新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴い、令和 2 年度から開催できていない。学びへの意欲を喚起できるよう DX を活用した講座などを検討する必要がある。



ひがしひろしまスペースクラブ



東広島天文台「かなた望遠鏡」

令和 3 年度 目的別事業群総括管理 (決算) シート

1 第五次東広島市総合計画に掲げる施策

まちづくり大綱	3 人づくり	施策	5 知的資源と国際性を活かした人づくり
施策の将来の目標像	大学立地などの地域の特性を活かし、その知見を活かした教育が提供され、国際感覚を備え、高度な専門性を身に付けた人材が数多く育っています。		
施策の数値目標	指標	現状値 (R 1 年度)	目標値 (R 6 年度)
	「外国人と積極的にコミュニケーションを図りたい」と思う児童の割合	73.3%	80%以上
	「外国人と積極的にコミュニケーションを図りたい」と思う生徒の割合	66.8%	70%以上

2 目的別事業群の概要

目的別事業群名	① 大学・企業等との連携による学びの充実と国際感覚の醸成	主管部局・所属	学校教育部 指導課
関係部局・所属	生活環境部 市民生活課	生涯学習部	生涯学習課
	生涯学習部 文化課		

3 目指す姿と戦略

目指す姿	大学・企業等との連携により市民の学びが深まるとともに、外国に繋がる人との交流が広がり国際感覚が醸成される	現状	研究資源や高い専門性を持つ人材が「学び」に十分に活かせておらず、国際感覚の醸成も十分高まっているとは言えない。	
	課題	仮説に基づく戦略	寄与度	戦略No.
	本市が有する教育資源の効果的な活用及び連携充実に資する関係部局の協働体制が十分とは言えない	大学等研究機関や各種教育機関・企業と連携した教員研修及び学校の学び充実	高	1
	関係機関と連携した国際交流機会を計画的かつ効率的に創出する必要がある	国際感覚の醸成	中	2
	大学や試験研究機関と連携した講座の充実を図る必要がある	大学や試験研究機関等と連携した豊かな学びにつながる講座の充実	低	3

4 成果指標

成果指標	初期値 (年度)	目標値及び実績値			終期目標値 (年度) 達成率	単位
		R2	R3	R4		
(7) 各種主催講座等の受講により、生涯学習活動に取り組んでいこうと考えている人の割合	80 (R1)	81 97 119.8%	83 84 101.2%	84	85 (R6) 98.8%	%
(4) 「外国人と積極的にコミュニケーションを図りたい」と思う児童・生徒の割合	80 (R1)	81 66 81.5%	82 68 82.9%	83	84 (R5) 81.0%	%
(7) 埋蔵文化財及びキャンパスへ興味・関心を持ったと回答した小学生・保護者の割合	90 (R1)	91 0 0.0%	92 97 105.4%	93	94 (R5) 103.2%	%

5 コスト情報

目的別事業群事業費 (千円)	R 年度	当初予算額	決算額	人件費
		一般財源	一般財源	
R 2 年度		5,241	1,707	16,974千円
		5,216	1,707	
R 3 年度		2,904	1,749	
		2,904	1,749	

6 戦略を構成する事務事業

(単位：千円)

No.	款・項・目 事務事業名	所属	人役	R2 当初予算額	R3 当初予算額
				R2 決算額	R3 決算額
1-1	10・1・3 未来創造キャリア形成事業	指導課	0.10	2,440	425
				0	0
1-2	10・5・5 歴史体験事業	文化課	0.35	105	129
				0	55
2-1	10・1・3 グローバルマインド育成事業	指導課	0.20	1,388	1,418
				1,270	1,184
2-2	2・1・7 国際理解推進事業	市民生活課	0.30	35	35
				0	0
3-1	10・5・2 学びのキャンパス推進事業	生涯学習課	1.74	1,273	897
				437	510
合計			2.69	5,241	2,904
				1,707	1,749

7 R3事業費の分析(差額=「R3年度当初予算額」-「R3年度決算額」) ※決算額には繰越を含む。

差額	分析
1,155千円	新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴い、一部事業を中止したため。

8 R3成果指標の分析(成果指標の平均達成率)

平均達成率	分析
96.5%	新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴い、一部事業を中止したため、今後実施した場合に達成率の向上を図る。

9 取組の分析

区分	分析ポイント	概要
妥当性	取組の目的・対象・手段の設定は、社会のニーズ等を踏まえ適切であったのか。	大学等との連携事業については、オンラインと対面での実施を併用することで、新たな実施方法を確立することができた。また、外国語活動を通じた国際教育の活動では、学校からの要望に応えることができた。
効率性	投入資源量、実施主体等を踏まえ、最も経済的・効率的な手段であったのか。	大学等との連携により、地域の知的資源を活用しながら事業を実施している。また、市内の大学での学びや外国人留学生との交流を、質の高い教育の実現につなげることができた。
外的要因	外的な要因による影響はあったのか。	新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴い、研修や講座、一部の事業を中止としたものがある。

10 総合評価

総合評価	<総評>
B	令和3年度は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴い、やむを得ず中止した事業や未実施の事業が多かった。今後は、市内の大学と協力して、児童生徒や市民の外国人との交流や、知的好奇心を満たすための学びの機会を積極的に設けていきたい。

11 今後の課題及び取組方針

課題	課題を踏まえた今後の取組方針
令和3年度は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大により、やむを得ず中止等とした事業が多かった。	コロナ禍においても、オンラインと対面での実施を併用しながら、状況に応じた最適な実施方法を選択し、事業を展開していく。

概要シート

まちづくり大綱	施策	目的別事業群
3 人づくり	5 知的資源と国際性を活かした人づくり	大学・企業等との連携による学びの充実と国際感覚の醸成 ①

事業の概要						
戦略	1	大学等研究機関や各種教育機関・企業と連携した教員研修及び学校の学び充実	予算	554 千円	決算	55 千円
事務事業	1-1	未来創造キャリア形成事業	予算	425 千円	決算	0 千円
内容						
1-1_未来創造及びキャリアの形成 ① 中学生職場体験学習 【実施内容】中学生職場体験学習（中止）						

事業の概要						
戦略	大学等研究機関や各種教育機		予算	554 千円	決算	55 千円
	1	関・企業と連携した教員研修及び学校の学び充実				
事務事業	1-2	歴史体験事業	予算	129 千円	決算	55 千円

内容

1-2_歴史の体験

① 「親と子の体験歴史村」講座の実施

勾玉作りや火おこし等、親子で古代の人々の生活体験をすることで、埋蔵文化財への興味と関心を高めることができた。

【対象】 小学 4～6 年生とその保護者

【場所】 広島大学構内、広島大学総合博物館

【回数】 7 月 31 日(土)午前と午後の 2 回開催

【人数】 親子 26 組、54 人

【成果・課題】

このイベントへ参加した感想は、97%が「良い」と回答をしており、満足度も非常に高く、今後も続けていくべき事業である。

課題としては、参加人数を増やすため、地域のリーダーやボランティアなどの力を借りていくことである。



火おこし体験の様子

事業の概要						
戦略	2	国際感覚の醸成	予算	1,453 千円	決算	1,184 千円
事務事業	2-1	グローバルマインド育成事業	予算	1,418 千円	決算	1,184 千円
内容						
2-1_グローバルマインドの育成						
① 国際交流を目的とした出前授業						
【実施内容】 国際交流を目的とした出前授業の実施（1回）						
【成果・課題】						
国際交流を目的とした出前授業の実施を通して、児童のグローバルマインドの涵養を図ることができた。今後は、内容が重複している事業があることから、統合に向けて検討することも必要である。						
② 外国語活動充実を目的とした授業						
【実施内容】 外国語活動充実を目的とした授業の実施（722時間）						
【成果・課題】						
新型コロナウイルス感染症拡大防止の水際対策のため、JET プログラムによる ALT の来日が遅れていた小学校があったが、外国語指導協力者を派遣することで補うことができ、児童の英語学習への意欲を高めることができた。						

事業の概要						
戦略	2	国際感覚の醸成	予算	1,453 千円	決算	1,184 千円
事務事業	2-2	国際理解推進事業	予算	35 千円	決算	0 千円
内容						
2-2_国際理解の推進						
<p>① JICA 研修事業研修員と市民等との交流の促進 (0 千円)</p> <p>JICA 中国が実施する研修コースに協力し、市民等が幅広く研修員と交流する機会を設けることで、国際協力への意識醸成や国際性豊かな人材育成を推進することとしていたが、新型コロナウイルス感染症拡大の影響で研修員の来日が叶わず、交流ができなかった。</p> <p>② 国際協力研修事業への協力による国際理解の促進 (0 千円)</p> <p>ア JICA「排水処理技術コース」への協力による国際理解の促進</p> <p>新型コロナウイルス感染症の影響により、研修生は来日できなかったが、オンラインによる研修を実施し、庁内 5 課 10 名の職員が研修講師を務めた。</p> <p>イ JICA 中国が実施する各種研修コースへの協力 5 コース/年</p> <p>新型コロナウイルス感染症の影響により、オンラインにて研修講師として協力した。</p>						

事業の概要			
戦略	大学や試験研究機関等と連携した豊かな学びにつながる講座の充実	予算 897 千円	決算 510 千円
事務事業	3-1 学びのキャンパス推進事業	予算 897 千円	決算 510 千円
内容			
3-1_学びのキャンパスの推進			
①「東広島学」の開催（27 千円）			
近畿大学工学部と連携し、市内の各分野で活躍する団体等の講義等を通じて、東広島を知り、愛着を持ってもらう講座を実施した。			
【対象】 市民、学生			
【場所】 近畿大学工学部ほか			
【回数】 15 回（連続講座）			
【成果・課題】			
受講者の講座に対する満足度は約 96%であり、東広島に対する郷土愛の醸成を図ることができた。この講座を通して、受講生たちが学びを地域づくりに生かしていくことが重要である。			
②「ボランティア発見講座」の開催（89 千円）			
広島国際大学と連携し、市内で活動するボランティア団体等の講座を通じて、ボランティア活動への関心を高める講座を実施した。			
【対象】 市民、学生			
【場所】 広島国際大学ほか			
【回数】 8 回（連続講座）			
【成果・課題】			
約 99%が「ボランティア活動への関心が高まった」と回答し、受講者の興味・関心を引き起こすことができた。受講生たちが、実際の様々なボランティアに参加できる仕組みを作っていく必要がある。			
③「サマーカレッジ」の開催（0 千円）			
広島国際大学と連携し、専門的な学術分野の講義や体験実習などを実施する予定であったがコロナ対応により中止した。			
【対象】 市民			
【場所】 広島国際大学			
【回数】 0 回（連続講座）			
【成果・課題】			
大学と連携し、一緒に取り組むことに一定の成果があったが、今後は、より豊かな学びにつながるよう実施方法などを見直し、再構築していく必要がある。			

事業の概要

④「広大マスターズ市民講座」の開催（138千円）

広島大学マスターズと連携し、その知的資源を活用して市民の高度で多様なニーズに応える生涯学習の機会を提供した。

【対象】 市民

【場所】 東広島芸術文化ホールくららほか

【回数】 15回（4講座 各講座4回連続、一部コロナ対応により中止）

【成果・課題】

受講者の講座に対する満足度は約91%であり、広島大学マスターズの知的資源を活用し、市民に高度な学びの場を提供することができたが、講座のテーマが固定化しつつあるので、内容に広がりを持たせる工夫が必要である。

⑤「生涯学習サテライトキャンパス講座」の開催（256千円）

市内大学の教授等が講師となり、専門的な内容を学ぶことができる講座を各地域で開催した。

【対象】 市民

【場所】 生涯学習センター、地域センター等

【回数】 11回（一部コロナ対応により中止）

【成果・課題】

受講者の講座に対する満足度は約94%であり、市内大学の教授等を講師として専門的な内容を学ぶ機会を提供することができた。市内一円で開催するために、DXの活用が必要である。



東広島学



ボランティア発見講座



生涯学習サテライトキャンパス

令和 3 年度 目的別事業群総括管理 (決算) シート

1 第五次東広島市総合計画に掲げる施策

まちづくり大綱	3 人づくり	施策	6 市全体が「学びのキャンパス」となる環境づくり
施策の将来の目標像	市民が主体となった学習活動が活発になり、生涯にわたってスポーツを楽しめる環境が形成されています。また、東広島市の歴史・文化が伝承され、市民の文化芸術活動が活性化されています。		
施策の数値目標	指標	現状値 (R 1 年度)	目標値 (R 6 年度)
	生涯学習の満足度	61.5%	80%

2 目的別事業群の概要

目的別事業群名	① 生涯を通じて地域で学び、活躍できる環境の整備	主管部局・所属	生涯学習部 生涯学習課
関係部局・所属			

3 目指す姿と戦略

目指す姿	市民自ら生涯を通じて学び、活躍できる環境が整っている	現状	市民が主体的に学び、その成果を活かすことのできる学習環境が整備されていない	
課題	仮説に基づく戦略		寄与度	戦略No.
全ての市民にとって魅力ある図書館を整える必要がある。	社会情勢や利用ニーズを踏まえた図書館の環境づくり	中	1	
生涯学習の推進体制を整え、生涯学習講座の魅力、生涯学習への関心を高め、学習成果の活用	豊かな学びへの支援と学びを通じたつながりの推進	中	2	
生涯学習施設を有効に活用する必要がある。	学びを支える環境づくり	低	3	

4 成果指標

成果指標	初期値 (年度)		目標値及び実績値			終期目標値 (年度) 達成率	単位
			R2	R3	R4		
(7) 生涯学習センター・地域センター等における主催講座受講者数	71,693 (R 1)	上段：目標値 中段：実績値 下段：達成率	71,700	73,300	74,900	77,900 (R 6)	人
			47,013	28,067		36.0%	
			65.6%	38.3%			
(4) 図書館来館者数	557,780 (H30)		575,000	584,000	593,000	602,000 (R 5)	人
			442,277	400,942		66.6%	
(7)	()					()	

5 コスト情報

目的別事業群事業費 (千円)	R 年度	当初予算額		決算額		人件費
		一般財源		一般財源		
	2 年度	669,022		630,817		47,830千円
		567,009		542,454		
	R 年度	694,640		636,426		
	3 年度	640,042		563,196		

6 戦略を構成する事務事業

(単位：千円)

No.	款・項・目 事務事業名	所属	人役	R2 当初予算額	R3 当初予算額
				R2 決算額	R3 決算額
1-1	10・5・4 図書館管理運営事業	生涯学習課	1.77	345,779	391,388
				344,271	380,550
2-1	10・5・2 生涯学習活動推進事業	生涯学習課	4.31	75,955	97,140
				70,685	75,606
3-1	10・5・2 生涯学習施設管理運営事業	生涯学習課	1.50	247,288	206,112
				215,861	180,270
合計			7.58	669,022 630,817	694,640 636,426

7 R3事業費の分析(差額=「R3年度当初予算額」-「R3年度決算額」) ※決算額には繰越を含む。

差額	58,214千円	分析	主に工事請負費等の入札による差額
----	----------	----	------------------

8 R3成果指標の分析(成果指標の平均達成率)

平均達成率	53.5%	分析	コロナ禍において、事業中止や施設の利用制限等があったが、感染防止対策を徹底し、感染状況を鑑みながら、継続的な学びの機会を提供した。
-------	-------	----	---

9 取組の分析

区分	分析ポイント	概要
妥当性	取組の目的・対象・手段の設定は、社会のニーズ等を踏まえ適切であったのか。	オンラインと対面を併用した講座の実施や図書館の利用環境整備など、豊かな学びへの支援、利用ニーズをふまえた学びの環境づくりを進めたことは、適切であった。
効率性	投入資源量、実施主体等を踏まえ、最も経済的・効率的な手段であったのか。	図書館において、ICタグ貼付け作業を完了し、セルフ貸出機を導入したことに伴い、貸出業務の人役の一部をレファレンス業務等に移すことが可能となった。
外的要因	外的な要因による影響はあったのか。	新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い、主催事業の中止、施設の利用制限を行ったため、主催講座の実施回数、図書館の来館者数はともに減少した。

10 総合評価

総合評価	B	<総評>
		多様化する学習環境に対する市民の多様なニーズに応えながら、学びの機会を提供したが、講座への参加や図書館の来館を増やす取り組みから学びの実践への取り組みへの転換の時期にきている。

11 今後の課題及び取組方針

課題	課題を踏まえた今後の取組方針
<ul style="list-style-type: none"> ●ICT技術を活用した学びの環境づくりを図る必要がある ●地域間において学びの環境に差異がある。 ●学びから活動への好循環を整える必要がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ●図書館システムと電子図書館システムを連携し電子図書館利用促進を図る。 ●既存施設を有効活用した図書館サービス拠点の拡充を図る ●学びに関して豊富な経験と専門的な知識を有する職員により、長期的・継続的に取り組んでいく。

概要シート

まちづくり大綱	施策	目的別事業群
3 人づくり	6 市全体が「学びのキャンパス」 となる環境づくり	① 生涯を通じて地域で学び、 活躍できる環境の整備

事業の概要			
戦略	1 社会情勢や利用ニーズを踏 まえた図書館の環境づくり	予算 391,388 千円	決算 380,550 千円
事務事業	1-1 図書館管理運営事業	予算 391,388 千円	決算 380,550 千円

内容

1-1_図書館の管理運営

貸出返却やレファレンス（調査相談）のサービスに加え、地域の情報拠点として市民の課題解決に必要な幅広い資料を収集・整理し、ICTを活用したサービスを提供するとともに、市民と市民、市民と情報など様々なつながりを深める場としての機能の充実を図った。

①図書館の指定管理者による管理運営（289,881 千円）

【対象】市立図書館全7館（中央図書館、サンスクエア児童青少年図書館、黒瀬図書館、福富図書館、豊栄図書館、河内こども図書館、安芸津図書館）

【成果・課題】

図書館サービス計画指標達成率は、目標値に対しレファレンスサービス 42%（3,519 件）、延貸出者数 82%（387,802 人）となった。一方で、電子図書館貸出回数は 5,246 回（前年比 1.3 倍）となった。
課題は、電子書籍貸出や非対面でのレファレンスサービスなど、DXを活用したサービスを拡充することである。

②ICT技術の活用による環境整備（51,593 千円）

ア ICタグ貼付及びエンコード作業（R2 年度～R3 年度）

市立図書館の保有する資料への IC タグ貼付及びエンコード作業

【新】イ ICシステムの導入

セルフ貸出機・返却機の設置
図書システムのカスタマイズ
（IC システム連携設定）



セルフ貸出機

【成果・課題】

所蔵図書約 72 万冊に IC タグを貼付け、セルフ貸出機・返却機を中央図書館、サンスクエア児童青少年図書館、黒瀬図書館に設置した。
非対面でスムーズに手続きを行うことができるようになり、利便性向上、効率化を図ることができた。課題は窓口効率化により業務体制を見直し、レファレンス業務等の司書機能の拡充を進めることである。

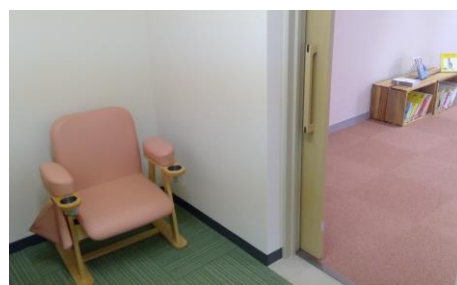
事業の概要

③利用者層・利用形態に応じた利用空間の住み分けによる環境整備（1,854 千円）

【新】ア 中央図書館における館内ゾーニングの見直し



屋外スペースに飲食ができるようテーブルセットを設置



おはなしの部屋の一部を授乳室に改装し、授乳用チェアとおむつ交換台を設置



積み木型書架に10代20代向けの図書を集め、ヤングアダルトコーナーを設置

【成果・課題】

中央図書館に飲食スペース、授乳室、ヤングアダルトコーナーの3つのゾーンを新たに設置し、利用環境の向上を図ることができた。市立図書館の拠点館として、幅広い利用者層や利用形態に応じた利用環境を提供し、場を活用した図書館サービスの推進に取り組んでいく必要がある。

④施設の改修等（28,140 千円）

- ア 中央図書館エレベーター更新工事
- イ 中央図書館照明設備改修工事設計委託

【成果・課題】

令和2年度に作成した長期修繕計画に基づき計画的な部位修繕を行った。今後の施設大規模改修時には設備機器の更新に加え、現在の利用ニーズに即した利便性向上も含めた改修に取り組んでいく必要がある。

概要シート

まちづくり大綱	施策	目的別事業群
3 人づくり	6 市全体が「学びのキャンパス」 となる環境づくり	① 生涯を通じて地域で学び、 活躍できる環境の整備

事業の概要			
戦略	2 豊かな学びへの支援と学びを通じたつながりの推進	予算 97,140 千円	決算 75,606 千円
事務事業	2-1 生涯学習活動推進事業	予算 97,140 千円	決算 75,606 千円
内容			
2-1_生涯学習活動の推進			
<p>多様で変化する学習ニーズや少子高齢化の進展など、現代的・社会的課題に対応するための学習機会を提供した。</p> <p>①人権に関する学習機会の充実（120 千円）</p> <p>ア 人権講座の開催（うち 100 千円）</p> <p>人権尊重の理念が日常生活に根付くように多様な学習機会を提供した。</p> <p>【対象】 市民</p> <p>【場所】 生涯学習センター及び地域センター等</p> <p>【内容】 人権尊重の意識の高揚を醸成する講座を開催</p> <p>【回数】 136 回</p> <p>イ 人権教育研修会の開催等（うち 20 千円）</p> <p>人権教育研修会の開催や県主催の人権教育指導者研修会への参加を促し、指導者の養成及びその資質の向上を図った。</p> <p>【対象】 地域センター職員等</p> <p>【場所】 市役所、県庁等</p> <p>【内容】 研修会の提供等、人権講座の学習プログラムの企画・立案</p> <p>【回数】 2 回</p> <p>【成果・課題】</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 10px; margin: 10px 0;"> <p>生涯学習センター及び地域センター等において、人権講座を年間 136 回開催し、身近な課題である高齢化や少子化、社会福祉等の多様なテーマについて学習した。また、人権教育研修会は、コロナ禍で、対面での研修を一部中止したが、オンラインを活用して、工夫しながら実施した。</p> <p>引き続き、地域における指導者の養成及び資質の向上をめざしていく必要がある。</p> </div> <p>②家庭教育支援講座の開催（455 千円）</p> <p>ア ブックデビュー推進講座等の開催（うち 389 千円）</p> <p>妊娠期から親子の信頼関係を育むため、子どもとの愛着形成や言葉がけの大切さを伝える講座を実施した。</p> <p>【対象】 保護者及び妊産婦・配偶者、ブックデビューを支援したい人</p> <p>【場所】 地域すくすくサポート等</p>			

事業の概要

【回数】 30 回

イ 「親の力」をまなびあう学習プログラム等の開催（うち 66 千円）

子育てについて、自ら気づき学ぶことができる力を、参加者どうしの対話を通して身につける講座を実施した。

【対象】 子育て中の親・子育てに関心のある者

【場所】 市内公共施設等

【回数】 17 回



「親の力」をまなびあう学習プログラム

【成果・課題】

日常生活 10 圏域の全ての地域において講座を実施し、子育て家庭に対し、自身の子育て力につながる学びを通じて、家庭教育力の向上を促すとともに、子育てに関心のある方への人材育成やネットワークづくりを形成することが出来た。

家庭だけでは解決できない課題が増えていることから、「第 2 期東広島市子ども・子育て支援事業計画」の施策に基づき、教育の資源を活かした取組みを拡充していく必要がある。

③生涯学習講座等の開催（17,497 千円）

ア 東広島熟年マイスター教育講座の開催（うち 197 千円）

人生 100 年時代を見据え、高齢者を対象とした様々な社会問題について、体系的に「老い」を生き抜くために必要となる基礎的な知識を学ぶ講座を開催した。

【対象】 市民（65 歳以上）

【場所】 東広島芸術文化ホールくらら等

【内容】 認知症予防、特殊詐欺対策等の現代的課題や本市の福祉制度等、高齢者の特性を学び、備える講座をテーマごとに開催

【回数】 24 回（3 コース 各コース 8 回連続）

イ 広島版「学びからはじまる地域づくりプロジェクト」講座の開催（うち 117 千円）

地域住民が主体的に地域づくりに参画できるプロジェクトにより企画した講座を開催した。

【対象】 市民

【場所】 生涯学習センター及び地域センター等

【内容】 地域の多様な主体と連携・協働した講座

【回数】 101 回

ウ 主催講座の開催（うち 17,031 千円）

東広島市社会教育事業の実施方針に沿って、生涯学習（支援）センター及び地域センター等において地域の課題に応じた講座を開催した。

事業の概要

【対象】 市民

【場所】 生涯学習センター及び地域センター等

【内容】 地域が抱える課題を知り、解決するための学習機会となる講座

【回数】 2,320回

エ 出前講座の実施（うち152千円）

市民の求めに応じて、市または協力機関（公的機関・団体）の職員等が講師となり、地域へ出向いて市政等に係る講座を実施した。

【対象】 市内に在住、在勤、在学している10人以上の団体

【場所】 市内公共施設ほか

【内容】 市や協力機関（公的機関、団体）より提供する学習メニューから関心のある内容を申し込む

【回数】 229回



東広島熟年マイスター教育講座

【成果・課題】

コロナ禍においても、生涯学習（支援）センター、地域センター等において多様な主催講座（2,320回）を実施した。一方、具体的にどの施設でどのような学習活動を行っているか内容分析ができていないため、戦略的な事業展開が実施できていない。

各地域の学習内容を調査し、弱点分野や戦略的分野に注力し、「学び」がコミュニティ活動や地域共生・地域づくり等の実践に繋がる好循環を目指す必要がある。

④生涯学習推進体制の充実と資質の向上（48,610千円）

ア 生涯学習推進員等の配置（うち48,503千円）

地域の学びのネットワークを支援する体制を構築した。生涯学習（支援）センター長（志和・黒瀬・福富・豊栄・河内・安芸津）（6人）、三ツ城コミュニティハウス副所長（1人）、生涯学習推進員（12人）、社会教育指導員（2人）、生涯学習相談員（1人）等の配置。

イ 社会教育関係等研修会の開催等（うち107千円）

講座の企画等に必要な知識・技能等に関する実践的な研修の開催や県主催の研修会への参加を促し、専門性の向上と関係職員の連携を図った。

【対象】 地域センター職員等

【場所】 市役所、県立生涯学習センター等

【内容】 職務の専門性を発揮できる資質・技能の向上（人材育成）とともに関係職員間のネットワークを構築

【回数】 26 回

【成果・課題】

社会教育関係等研修会は、コロナ禍で 8 回中止となったが、年間では 26 回実施し、様々なテーマの研修を受講することで、地域での講座企画運営等に生かすことができた。

今後は、これらの研修を地域の学びにつなげるため、柔軟に対応できる職員配置体制を整える必要がある。

⑤学習成果を発表する機会の充実と主体的な学びの促進（4,985 千円）

ア 生涯学習フェスティバルの開催（うち 2,848 千円）

新型コロナウイルス感染症拡大の影響により中止した。

【成果・課題】

現時点では、学びのきっかけづくりを主としており、一定の成果を上げることができた。

今後は、学びの活動が地域等での実践活動へとつながるよう、先駆的な事例やモデルとなる取組などを発表し、市民相互の交流と連携を高めていく必要がある。

イ 講座・サークルガイドブックの発行（うち 516 千円）

講座、イベントなど様々な生涯学習情報を集め、広く市民へ提供した。（年 1 回発行）

ウ 生涯学習パスポートの活用（うち 1,621 千円）

（ア）【大人版】生涯学習パスポート

学習者個人が学習目標を立て学習記録をつけることで、学んだ成果を実社会で活かす。

（イ）【子ども版】まなぶちゃんノート（小学校）、ジュニアパスポート（中学校）

学校外の学習活動、ボランティア、地域活動等を記録することで、児童・生徒の学校外での様々な体験活動を促進し、その経験を学校内での学びに活かす。



生涯学習パスポート



まなぶちゃんノート（小学校）



ジュニアパスポート（中学校）

【成果・課題】

ジュニアパスポート（中学校）、まなぶちゃんノート（小学生）の奨励者数（3,020人）は、前年度の奨励者数（2,891人）と比べて多少増加しているものの、令和元年度の奨励者数（4,782人）に比べて減少している。

特に中学生は、小学生とは大きく生活スタイルが異なるため、より多様な取り組みを併用した奨励策を検討し、主体的な取組につなげていく必要がある。

⑥社会教育関係機関等への負担・補助（918千円）

ア 社会教育関係機関への負担金（うち278千円）

広島県公民館連合会等と連携し、職員の研鑽を積むため、必要経費を負担した。

イ ボランティア活動への支援（うち640千円）

新型コロナウイルス感染症の感染防止に資するボランティア活動へ補助金を交付した。

【成果・課題】

コロナ禍においてボランティア活動を行った10団体に対して補助金を交付したことにより、新型コロナウイルス感染症拡大防止に努めつつ、地域とのつながりを創出することができた。

今後も、学生団体も含む市内のボランティア団体と連携し、地域社会の課題解決につながる取組を推進していく必要がある。

概要シート

まちづくり大綱	施策	目的別事業群
3 人づくり	6 市全体が「学びのキャンパス」 となる環境づくり	① 生涯を通じて地域で学び、 活躍できる環境の整備

事業の概要			
戦略	3 学びを支える環境づくり	予算 206,112 千円	決算 180,270 千円
事務事業	3-1 生涯学習施設管理運営事業	予算 206,112 千円	決算 180,270 千円

内容

3-1_生涯学習施設の管理運営

① 施設の管理運営

市民文化センター（指定管理）、志和生涯学習センター、黒瀬生涯学習センター、豊栄生涯学習センター、安芸津生涯学習センター、三ツ城コミュニティハウス、西志和コミュニティハウス、創作村、視聴覚ライブラリー、天文台広場の管理運営を行った。

② 施設の改修等（38,653 千円）

- ア 市民文化センター空調設備更新工事
- イ 市民文化センター舞台機構更新工事
- ウ 志和生涯学習センター解体工事設計委託



市民文化センター
(サンスクエア東広島2階・3階の一部)

【成果・課題】

令和2年度に作成した長期修繕計画に基づき計画的に部位修繕を行うことができた。

今後の施設大規模改修時には効率性・効果性を十分にふまえ、設備機器の更新に加えバリアフリー化など利便性向上も含めた改修に取り組んでいく必要がある。

令和 3 年度 目的別事業群総括管理 (決算) シート

1 第五次東広島市総合計画に掲げる施策

まちづくり大綱	3 人づくり	施策	6 市全体が「学びのキャンパス」となる環境づくり
施策の将来の目標像	市民が主体となった学習活動が活発になり、生涯にわたってスポーツを楽しめる環境が形成されています。また、東広島市の歴史・文化が伝承され、市民の文化芸術活動が活性化されています。		
施策の数値目標	指標	現状値 (R 1 年度)	目標値 (R 6 年度)
	生涯学習の満足度	61.5%	80%

2 目的別事業群の概要

目的別事業群名	② 芸術文化活動の活性化と歴史・文化の伝承	主管部局・所属	生涯学習部 文化課
関係部局・所属			

3 目指す姿と戦略

目指す姿	東広島市の歴史・文化が伝承され、市民の文化芸術活動が活性化	現状	芸術文化関連施設及び文化財関連イベント等の利用者が低迷している。	
課題		仮説に基づく戦略	寄与度	戦略No.
文化芸術の魅力に触れる機会の提供を増やす必要がある。	→	芸術文化活動の活性化と創造	中	1
文化財に対する保護意識の高揚と公開の環境を整える必要がある。		文化財の保護と活用	中	2

4 成果指標

成果指標	初期値 (年度)		目標値及び実績値			終期目標値 (年度) 達成率	単位
			R2	R3	R4		
(7) 芸術文化ホールの入館者数	300,759 (R 1)		335,000	335,000	335,000	335,000	人
			135,011	154,247		(R 5)	
			40.3%	46.0%		46.0%	
(4) 美術館入館者数	3,849 (R 1)	上段：目標値 中段：実績値 下段：達成率	15,000	35,000	35,000	35,000	人
			17,980	91,663		(R 4)	
			119.9%	261.9%		261.9%	
(5) 文化財公開施設等への入場者数	11,800 (R 1)		11,000	11,800	12,000	12,200	人
			11,467	8,677		(R 5)	
			104.2%	73.5%		71.1%	

5 コスト情報

目的別事業群事業費 (千円)		当初予算額		決算額		人件費
		一般財源		一般財源		
R 2 年度		480,804		448,003		113,391千円
		423,443		399,713		
R 3 年度		630,376		547,483		
		570,384		532,937		

6 戦略を構成する事務事業

(単位：千円)

No.	款・項・目 事務事業名	所属	人役	R2 当初予算額	R3 当初予算額
				R2 決算額	R3 決算額
1-1	10・5・1 芸術文化振興事業	文化課	1.82	242,298	243,427
				242,884	250,883
1-2	10・5・3 美術館管理運営事業	文化課	4.07	181,585	249,680
				150,782	227,488
2-1	10・5・5 文化財保存活用事業	文化課	1.61	25,069	43,144
				15,406	38,673
2-2	10・5・5 文化財施設等整備事業	文化課	1.31	3,312	68,346
				9,762	11,943
2-3	10・5・5 東広島市史編さん事業	文化課	1.00	0	3,120
				0	1,532
2-4	10・5・5 埋蔵文化財調査事業	文化課	5.66	15,999	9,386
				10,636	4,835
2-5	10・5・5 出土文化財管理活用事業	文化課	2.50	12,541	13,273
				9,600	12,129
合計			17.97	480,804	630,376
				448,003	547,483

7 R3事業費の分析(差額=「R3年度当初予算額」-「R3年度決算額」) ※決算額には繰越を含む。

差額	82,893千円	分析	災害復旧工事の入札不調の影響や、美術館解体工事の工法精査・入札残による減額等の補正を実施したため。
----	----------	----	---

8 R3成果指標の分析(成果指標の平均達成率)

平均達成率	127.2%	分析	文化財公開施設等への入館者数はコロナ禍の影響で伸び悩んだが、美術館の入館者数が目標値を大幅増加したため。
-------	--------	----	--

9 取組の分析

区分	分析ポイント	概要
妥当性	取組の目的・対象・手段の設定は、社会のニーズ等を踏まえ適切であったのか。	歴史文化の伝承と文化芸術活動の活性化には、これらに触れる機会の創出が欠かせないため、関心の高い文化事業の開催や新文化財センター整備及び市史編さんに着手したことは、適切であった。
効率性	投入資源量、実施主体等を踏まえ、最も経済的・効率的な手段であったのか。	各取組み共に、可能な部分は既に指定管理及び委託としており、効率化を図っている。
外的要因	外的な要因による影響はあったのか。	コロナ禍の影響によりイベントの開催が中止・延期になるなど、催しへの来場者数が半減する事業もあった。

10 総合評価

総合評価	A	<総評> 利用者の低迷した事業もあったが、美術館では注目を集める企画展の開催などにより大きな成果があった。また、施設の利用制限がありながらも一定の成果があったことは、成功事例として市内外に館のポテンシャルを示した。今後も、市民の関心及び満足度を上げる企画を行うなど、取り組みを強化するとともに活動を継続していくことが求められる。
------	---	---

11 今後の課題及び取組方針

課題	課題を踏まえた今後の取組方針
歴史文化の伝承と文化芸術活動を活性化させるための各種イベントは、参加者の満足度は高いが利用者の低迷が続いており、広報活動が効率的に行われていない可能性がある。	利用者の属性やニーズを把握し、ホームページ、SNS、メディアなど多面的な広報手段を活用して魅力ある情報を発信するとともに、歴史文化の伝承については地域と連携した活動も検討していく。

概要シート

まちづくり大綱	施策	目的別事業群
3 人づくり	6 市全体が「学びのキャンパス」となる環境づくり	② 芸術文化活動の活性化と歴史・文化の伝承

事業の概要			
戦略	1 芸術文化活動の活性化と創造	予算 493,107 千円	決算 478,371 千円
事務事業	1-1 芸術文化振興事業	予算 243,427 千円	決算 250,883 千円

内容

1-1_芸術文化の振興

①芸術文化ホールの管理運営 (240,788 千円)

「ふれる」「そだてる」「つくる」「つなげる」の基本理念に基づき、東広島芸術文化ホールくらの管理運営を指定管理者により実施した。

特別事業では、若者や家族向けを対象にした鑑賞事業や、広島交響楽団のコンサートなどを実施した。またくら開館5周年事業として、東広島市立美術館や東広島市観光協会とクイズラリーを実施したり、またくらピアノの日などオリジナリティのあるものを企画し、積極的な運営に取り組んだ。

- ・広島交響楽団のコンサート実施 令和3年11月14日 759人
- ・芸術文化ホール自主事業実施件数：33件

【成果・課題】

自主事業を当初50件と見込んでいたが、コロナ禍による中止・延期の影響があり33件の実施となった。若者のくらの定着利用が課題となっている。



広島交響楽団のコンサート

②地域芸術の育成 (6,232 千円)

地域の自主的な文化芸術活動を後援し、地域文化の創造を支援した。

ア 芸術文化活動の支援 (うち1,753 千円)

市民が主体的に行う文化事業の後援等を行うとともに、東広島市文化連盟等活動団体に助成を行った。

- ・文化芸術活動後援件数：88件



市民ミュージカル

事業の概要

イ 芸術文化活動の推進（うち 4,479 千円）

けんみん文化祭を開催や、芸術文化活動の推進等に関することを実施した。

- ・東広島地区フェスティバル
令和3年12月5日
せせらぎホール(黒瀬) 350人
- ・東広島分野別フェスティバル
令和3年11月21日
アゼイリアホール(豊栄) 350人



けんみん文化祭地区フェスティバル

【成果・課題】

文化芸術活動後援件数は、通常時は平均130件であるが、88件の実施となった。

課題としては、活動団体の高齢化で若者の加入が減少していることである。

③東広島市美術展の開催（3,863千円）

造形芸術活動の発表の場として、市民から公募した作品を展示する東広島市美術展を令和3年度からはジュニア部門も併せて開催した。

- ・会期：令和4年1月8日～16日
- ・観覧者数：1,474人
- ・市美展の応募数：
一般部門170点・ジュニア部門406点





東広島市美術展

【成果・課題】

コロナ禍により、講評会が中止となるなどで観覧者数に影響が出たが、ジュニア部門の創設により、合計576点の作品応募があった。

課題としては、一般部門の応募数の減少や、ジュニア部門のレベルの向上である。

事業の概要				
戦略	1	芸術文化活動の活性化と創造	予算 493,107 千円	決算 478,371 千円
事務事業	1-2	美術館管理運営事業	予算 249,680 千円	決算 227,488 千円
内容				
1-2_美術館の管理運営				
【拡】①特別企画展の開催 (48,522 千円)				
ア 井上涼展 版画スリスリびじゅチュ館 (うち 38,522 千円)				
NHK Eテレで放送している「びじゅチューン！」のアニメーション作家の個展で、東広島市立美術館所蔵作品のオリジナル版画及び新作アニメーション作品等の展覧会やオリジナルコンサートや版画ワークショップなども実施した。				
<ul style="list-style-type: none"> ・会期：令和3年4月9日～6月13日 ・観覧者数：7,322人 ・トークイベント 121人 ・びじゅチューンコンサート 266人 ・オンラインワークショップ 216件閲覧ほか 				
				
			井上涼展 版画スリスリびじゅチュ館	
イ PIXAR のひみつ展 いのちを生み出すサイエンス (うち 10,000 千円)				
「トイ・ストーリー」「モンスターズ・インク」などで知られるピクサー・アニメーション・スタジオのアニメーション制作過程等デジタルコンテンツを活用した体験型展覧会を実施した。				
<ul style="list-style-type: none"> ・会期：令和4年2月11日～3月27日 ・観覧者数：57,860人 ・関連イベントシールラリー：応募者数2,650人 				
				
			PIXAR のひみつ展 ～いのちを生み出すサイエンス～	
【成果・課題】				
<p>「PIXAR 展」では、1日1,285人もの入館者があり、市内外において「東広島市立美術館」を周知することが出来た。</p> <p>大規模展覧会の開催では、駐車場の混雑が課題となっている。</p>				
②旧美術館の解体 (31,122 千円)				
旧美術館の解体・撤去工事を実施した。				

事業の概要

③指定管理による美術館の管理運営（125,726千円）

【拡】ア 特別企画展の開催 今井政之展 一自ずから然らしむ（うち20,726千円）

平成30年に広島ゆかりの陶芸家として初となる文化勲章を受章した今井政之の個展を当館では38年ぶりに開催した。

- ・会期：令和3年10月11日～11月28日
- ・観覧者数：5,040人
- ・アートティストトーク 40人
- ・対談「海の生命-瀬戸内海の魚を中心に」37人
- ・ワークショップ「焼き物の土で動物づくり」小学生10人



今井政之展 開会式の様子

イ 指定管理による運営（通常期）（うち105,000千円）

(7) 第34回現代絵本作家原画展

～野坂勇作 絵(え)空(そら)ごと 本当(ほんと)ごと～

野坂勇作のデビュー作から近年の原画作品約130点と資料を併せて紹介した。

- ・会期：令和3年7月2日～9月12日
- ・観覧者数：2,557人
- ・アーティストトーク 54人
- ・ワークショップ『『しもばしら』『にゅうどうぐも』×科学実験』16人
- ・インスタギャラリートーク 観覧数224回
- ・自由参加型鑑賞クイズ「アートアドベンチャー」204人 ほか



第34回現代絵本作家原画展

(イ) コレクション展

- ・第Ⅰ期「新収蔵作品展」
(前期)令和3年6月22日～8月9日
(後期)令和3年8月11日～9月26日
計2,662人
- ・第Ⅱ期「巡りあうわたしたち」
令和3年12月1日～12月26日
1,324人
奥田小由女（2020年文化勲章受章）
の大型レリーフ《天翔ける賛歌》ほか



奥田小由女《天翔ける賛歌》
1989 広島県蔵

(ウ) 自主事業ほか

- ・ インスタライブ配信
- ・ 年間入館者数：91,663人
- ・ 開館1周年イベントや来館10万人セレモニーの開催を実施した。

【成果・課題】

ホームページ等の年間閲覧数が44万PV（ページビュー、ホームページ閲覧回数の指標）などウェブSNSを中心に展覧会等の情報発信に努め、また各種広報媒体へのプレスリリースなど積極的に実施した。

課題としては、展覧会の観覧やワークショップへの参加から、個人の創作活動への実践につながっていないことである。

④文化振興基金への積立（10,056千円）

文化振興基金へ元金及び利子の積み立てを行った。

⑤美術品購入（9,955千円）

東広島市の美術品収集基本方針に基づき、令和3年度実施した今井政之展に出品された作品のうち、作家の作風の変遷を知る上で重要な8点の作品を購入した。

- ・ 陶磁器 今井政之 《建設》ほか 計8点



《建設》



《苔泥彩鼎壺》



《白砂瓷尾白薔薇羽太飾皿》

⑥所蔵作品の管理ほか（2,107千円）

所蔵作品写真撮影及びポジフィルムのデジタルデータ化や所蔵油彩画作品修繕等を実施した。

【成果・課題】

特別企画展による作家研究の成果としての作品購入や新美術館開館を契機とした寄贈等により、62点の美術作品を新たに収蔵した。

課題としては、立体作品の収集が進んだため収蔵庫の狭隘化が想定より早く進んだことである。

事業の概要				
戦略	2	文化財の保護と活用	予算 137,269 千円	決算 69,112 千円
事務事業	2-1	文化財保存活用事業	予算 43,144 千円	決算 38,673 千円

内容

2-1_文化財の保存活用

①指定文化財等の管理活用 (37,091 千円)

指定された文化財や貴重な文化遺産の保護・保存のために、それらの適切な維持管理、公開活用を図る。また、指定文化財所有者の行う保存修理等に対して助成を行う。

ア 伝統的建造物群保存地区制度活用の機運醸成 (うち 4,078 千円)

制度活用に向けた機運醸成のためのシンポジウム等はコロナの影響により中止。

イ オオサンショウウオの宿管理運営 (うち 890 千円)

オオサンショウウオ一時保護施設の管理運営を行った。



オオサンショウウオの宿

【新】ウ 歴史民俗資料館デジタルコンテンツの作成 (うち 1,596 千円)

民具の使い方や代表的な史跡の解説動画等を制作した。

【新】エ 文化財関連施設等集約予定施設の維持管理 (うち 548 千円)

既存の建物・土地の維持管理を実施した。

オ 指定文化財保存修理等の補助 (うち 13,206 千円)

新宮神社本殿(西条町寺家)ほか2件の補助事業を実施した。

カ 指定文化財等の管理活用 (うち 16,773 千円)

指定文化財等の維持管理及び公開活用を実施した。

【成果・課題】

・伝統的建造物群保存地区(以下、「伝建地区」という)制度活用の機運醸成に向け、伝建地区保存条例を制定し、伝建地区保存審議会を設置した。また将来の地区を分かり易く説明するため、委託により説明用のイメージ図13点を作成した。このイメージを効果的に用いて、住民の合意形成を図る必要がある。

・資料館の利用を促進することを目的に、指名競争入札により、史跡紹介の動画2本、民具使用方法の動画4本のデジタルコンテンツを作成し、公開した。課題としては、当コンテンツをメディア等に上げるだけでなく、出前授業等にも利用し、歴史・文化の伝承につなげる必要がある。

②文化財の調査と保護 (1,582 千円)

市内に所在する各種の文化財について悉皆調査を行うとともに、御建神社ほかの登録のための調査及び文化庁調査官の実査を行った。

また、「中黒瀬のセンダン」を市天然記念物として指定することを市文化財保護審議会に諮問し、指定が適当



中黒瀬のセンダン

との答申を得た (R4.3.15 答申。なお、本物件は R4.4.22 付で指定)。

【成果・課題】

指定調査により、1 件の市天然記念物の諮問を行い、答申を受けた。また、2 件の登録有形文化財の意見具申を文化庁に対し行うとともに、御建神社・教善寺の登録実査を文化庁と実施した。

課題としては、確実な文化財保護が図れる「指定」・「登録」を促進するため、文化財の基礎調査を計画的に実施していくことが求められる。

事業の概要			
戦略	2	文化財の保護と活用	予算 137,269 千円 決算 69,112 千円
事務事業	2-2	文化財施設等整備事業	予算 68,346 千円 決算 11,943 千円

内容

2-2_文化財施設等の整備

歴史民俗資料館及び文化財収蔵庫施設の集約に着手するとともに、文化財施設の修繕等を実施し、史跡鏡山城跡の災害復旧工事に着手した。

①文化財施設等の新設・修繕 (10,655 千円)

【新】ア (仮称)新文化財センターの整備 (うち 8,867 千円)

(仮称)新文化財センターの改修設計業務に着手し、用地の一部公有化のため、分筆測量を実施した。

(ア)施設改修設計 (うち 4,500 千円)

久芳小学校跡施設を文化財集約施設に改修するための調査・設計に着手した。

(イ)久芳小学校跡地の用地取得 (うち 3,898 千円)

校舎敷地に係る民有地の一部取得に係り、分筆測量を実施した。

(ウ)その他修繕等 (うち 469 千円)

施設の修繕及び新文化財センター整備に係る文化庁協議を行った。

イ文化財説明板、案内標識等の新設、修繕 (うち 1,788 千円)

【成果・課題】

新文化財センター整備のため設計業務に着手することができた。
課題としては、スケジュールが遅れ気味となっていることから、進捗管理の厳密化が必要である。

②史跡鏡山城跡の災害復旧 (1,288 千円)

平成 30 年 7 月豪雨で被災した史跡鏡山城跡の復旧工事に着手した。



史跡鏡山城跡被災状況遠景



史跡鏡山城跡災害復旧工事

【成果・課題】

史跡鏡山城跡災害復旧は入札不調等により実施が大幅に遅れていたが、国庫補助金を得て一部着工することができた。

課題としては、工事費高騰の中で早期に復旧を果たすことである。

事業の概要				
戦略	2	文化財の保護と活用	予算 137,269 千円	決算 69,112 千円
事務事業	2-3	東広島市史編さん事業	予算 3,120 千円	決算 1,532 千円

内容

2-3_東広島市史の編さん

【新】①東広島市史の編さん (1,532 千円)

東広島市の歴史を明らかにするとともに、市民の郷土に対する理解と関心を深め、今後の魅力あるまちづくりに資するため、東広島市史の編さんに着手し、事業推進体制の整備を行った。

【事業予定期間】

- ・令和3年度～令和12年度

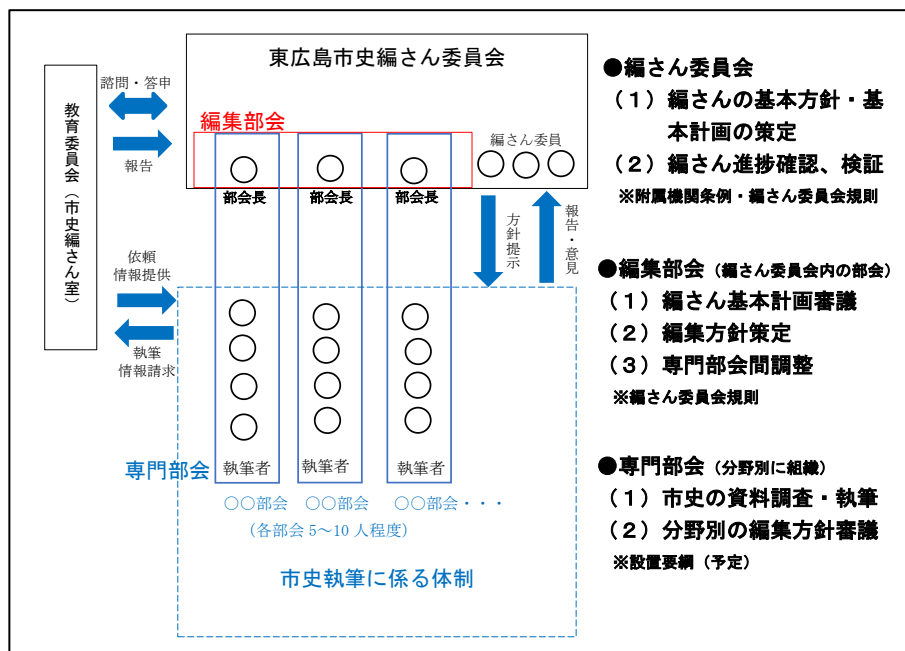
【令和3年度の取組】

- ・東広島市史編さん委員会の設置（準備協議会2回、編さん委員会1回）
- ・市史編さん基本方針案の策定
- ・市史編さん事業中の他自治体への意見聴取
- ・事業推進体制の整備
- ・資料収集等

【成果・課題】

市史編さん準備協議会、市史編さん委員会を経て市史編さん基本方針案を策定するとともに、史料調査に着手することができた。

課題としては、令和6年の市制施行50周年に合わせて「酒」と「西条独創教育」をテーマに先行刊行する冊子について編さん作業を着実に進めていくことである。



事業の概要			
戦略	2 文化財の保護と活用	予算 137,269 千円	決算 69,112 千円
事務事業	2-4 埋蔵文化財調査事業	予算 9,386 千円	決算 4,835 千円

内容

2-4_埋蔵文化財の調査

①埋蔵文化財の調査 (4,835 千円)

各種開発事業に伴う埋蔵文化財の事前相談・協議、現地踏査・試掘調査及び指示・指導を行い、開発と保存の調整を実施した。

- ・事前協議：1,345 件（前年度：879 件） 【回答率】100%
- ・工事届け：148 件（前年度：121 件） 【回答率】100%
- ・試掘調査：57 件（新発見の遺跡：3 か所）
- ・工事立会：63 件（うち2件で遺構を確認し、緊急的に対応した）
- ※また、必要に応じて、記録保存のための発掘調査を行った。
- ・発掘調査：13 件（個人住宅の浄化槽調査含む）うち、負担金を伴う受託調査は1件 ※市事業課から委託された調査3件は含まない。
- ・民間等の調査期間による発掘調査の監理：2 件
- ・出土品等の整理、収蔵を行った。



前長者遺跡の発掘調査の様子

【成果・課題】

事前協議・工事届けに全件回答し、試掘調査・工事立会、場合によっては発掘調査を実施して開発と埋蔵文化財の保存の調整に努めた。

課題としては、基礎資料となる精度を高めた遺跡地図の公開をすることである。

事業の概要			
戦略	2 文化財の保護と活用	予算 137,269 千円	決算 69,112 千円
事務事業	2-5 出土文化財管理活用事業	予算 13,273 千円	決算 12,129 千円

内容

2-5_出土文化財の公開活用

①出土文化財の公開活用 (12,129 千円)

出土文化財及び埋蔵文化財に関する各種講座・講師派遣、常設展示・企画展示常設・企画展示などを開催して公開活用を図った。

- ・出土文化財管理センター入館者：452 人（企画展第 1 期含む）
- ・令和 3 年度出土文化財企画展【古代の東広島】を開催。（来場者：552 名）
第 1 期 令和 4 年 1 月 8 日（土）～2 月 3 日（木）…(23 日間)227 人
会場：東広島市出土文化財管理センター・展示室
第 2 期 令和 4 年 2 月 9 日（水）～2 月 14 日（月）…(6 日間)325 人
会場：東広島芸術文化ホールくらら・市民ギャラリー
- ・出土文化財報告会：コロナ禍のため中止。
- ・各種講座や講師の派遣
講師として職員を派遣：3 団体 4 回（計 88 人）
市事業団と共催で連続講座「遺跡で語る私たちの歴史」を開催
：全 7 回（総計 123 人）
- ・広報誌「東ひろしまの遺跡」2 冊、企画展の図録を発行



「企画展」展示見学の様子

【成果・課題】

企画展は 2 期 2 会場に分けて開催したことにより来場者の利便性向上に努めたほか、各種講座・講師派遣依頼 11 件（のべ 211 名の参加）に対応するなどして埋蔵文化財の魅力を知りた。周知した。

課題としては、報告会等のイベントを中止することなく、デジタル配信など DX を活用した公開に対応していくことである。

令和 3 年度 目的別事業群総括管理 (決算) シート

1 第五次東広島市総合計画に掲げる施策

まちづくり大綱	3 人づくり	施策	6 市全体が「学びのキャンパス」となる環境づくり
施策の将来の目標像	市民が主体となった学習活動が活発になり、生涯にわたってスポーツを楽しめる環境が形成されています。また、東広島市の歴史・文化が伝承され、市民の文化芸術活動が活性化されています。		
施策の数値目標	指標	現状値 (R1年度)	目標値 (R6年度)
	生涯学習の満足度	61.5%	80%

2 目的別事業群の概要

目的別事業群名	③ 生涯にわたってスポーツを楽しめる環境の形成	主管部局・所属	生涯学習部 スポーツ振興課
関係部局・所属			

3 目指す姿と戦略

目指す姿	いつでも・どこでも・誰でも・地域でスポーツができる仕組みがあるまちになっています。	現状	スポーツに興味がある人は多いが、スポーツを習慣としている人の割合が低い。	
課題	仮説に基づく戦略		寄与度	戦略No.
市民ニーズに合ったスポーツ施設の整備が必要である。	スポーツ施設等の整備運営	中	1	
活動機会の提供によるスポーツ活動の習慣化及び指導者の育成が必要である。	スポーツ活動の普及振興	中	2	
スポーツ団体及び個人への活動支援及び競技スポーツの振興が必要である。	スポーツの活動支援の充実	低	3	

4 成果指標

成果指標	初期値 (年度)		目標値及び実績値			終期目標値 (年度) 達成率	単位
			R2	R3	R4		
(7) 週に1日以上スポーツする人の割合	36 (H29)	上段：目標値 中段：実績値 下段：達成率	40.4	42.0	43.6	50.0 (R8)	%
			27.7	42.8		85.6%	
			68.6%	101.9%			
(4) スポーツ施設利用者数	294,828 (H29)		300,000	301,500	303,000	310,000 (R8)	人
			243,220	194,943		62.9%	
(5)	()					()	

5 コスト情報

目的別事業群事業費 (千円)	R年度	当初予算額		決算額		人件費
		一般財源		一般財源		
	2年度	352,731		291,074		38,617千円
	2年度	260,087		217,516		
	3年度	334,013		272,631		
	3年度	287,658		242,717		

6 戦略を構成する事務事業

(単位：千円)

No.	款・項・目 事務事業名	所属	人役	R2 当初予算額	R3 当初予算額
				R2 決算額	R3 決算額
1-1	10・6・2 スポーツ施設管理運営事業	スポーツ振興課	0.97	182,367	181,822
				178,485	177,307
1-2	10・6・2 スポーツ施設整備事業	スポーツ振興課	0.92	100,569	66,044
				73,422	52,275
2-1	10・6・1 スポーツ活動活性化事業	スポーツ振興課	1.68	36,856	38,607
				33,968	33,378
3-1	10・6・1 スポーツ活動支援事業	スポーツ振興課	1.30	11,070	10,583
				4,317	6,064
3-2	10・6・1 オリンピック事前合宿等推進事業	スポーツ振興課	1.25	21,869	36,957
				882	3,607
合計			6.12	352,731	334,013
				291,074	272,631

7 R3事業費の分析(差額=「R3年度当初予算額」-「R3年度決算額」) ※決算額には繰越を含む。

差額	分析
61,382千円	新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴い、スポーツイベント等一部事業を中止し、スポーツ施設の利用制限を実施したため。

8 R3成果指標の分析(成果指標の平均達成率)

平均達成率	分析
83.3%	新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴い、スポーツ施設の利用者数が減ったため、目標をやや下回る結果となった。

9 取組の分析

区分	分析ポイント	概要
妥当性	取組の目的・対象・手段の設定は、社会のニーズ等を踏まえ適切であったのか。	市民の週一日以上のスポーツ活動実施率向上を目標に各種スポーツイベントについて計画していたが、計画どおり実施することができなかった。withコロナ時代も踏まえ、幅広い健康づくりの取り組みに取り組む必要がある。
効率性	投入資源量、実施主体等を踏まえ、最も経済的・効率的な手段であったのか。	スポーツ教室は、業務委託により専門性を高めている。スポーツ施設においては、withコロナを踏まえ、特定のスポーツ施設に頼らず実施できる健康づくり等を指標として設定する必要がある。
外的要因	外的な要因による影響はあったのか。	スポーツ振興業務委託においては、参加人数を削減する等により実施できたが、市民スポーツ大会等の大きな行事については新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響により中止を余儀なくされた。また、スポーツ施設利用者数についても、行動制限に伴い低下することとなった。

10 総合評価

総合評価	<総評>
B	新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴う緊急事態宣言の発出等により、行動制限や施設の使用制限が課せられたため、十分な成果を得ることはできなかった。施設に頼らない個人でも実施可能な健康づくり等の推進に努める必要がある。

11 今後の課題及び取組方針

課題	課題を踏まえた今後の取組方針
学びのキャンパス推進において「スポーツ施設の聖地化・特徴化」を掲げていることから、地域や競技団体と協議を重ねることにより理解を深める必要がある。スポーツ活動の普及においては、住民自治協議会やスポーツ推進委員、コミュニティ健康運動パートナーとの連携により、広義でのスポーツ活動の実施率向上を図る必要がある。	「スポーツの聖地化・特徴化」においては、当該競技実施者の優先予約を検討していることから、市民ニーズを満たす施設整備や競技備品の充実を図ることとする。スポーツ活動の普及についても、新たな種目(ラージボール卓球)の普及を進めることとしていることから、住民自治協議会や通いの場等と連携を図ることとする。

概要シート

まちづくり大綱	施策	目的別事業群
3 人づくり	6 市全体が「学びのキャンパス」となる環境づくり	③ 生涯にわたってスポーツを楽しめる環境の形成

事業の概要					
戦略	1 スポーツ施設等の整備運営	予算	247,866 千円	決算	229,582 千円
事務事業	1-1 スポーツ施設管理運営事業	予算	181,822 千円	決算	177,307 千円

内容

1-1_スポーツ施設管理運営

①スポーツ施設の管理運営

ア 指定管理者による管理運営(159,285 千円)

指定管理施設: 体育館(1)、プール(1)、グラウンド(8)、コミュニティスポーツ広場(9)、パークゴルフ場(2)、B&G海洋センター(2)

【指定管理施設 23 カ所】

(指) : 指定管理施設

区分	名称	管理
体育館	豊栄市民体育館	
	河内スポーツアリーナ	(指)
プール	黒瀬屋内プール	(指)
	安宿区民プール	
	能良区民プール	
グラウンド	八本松市民グラウンド	(指)
	志和市民グラウンド	(指)
	黒瀬市民グラウンド	(指)
	黒瀬多目的グラウンド	(指)
	福富多目的グラウンド	(指)
	豊栄市民グラウンド	
	豊栄ふれあいグラウンド	
	河内市民グラウンド	(指)
	河内区民グラウンド	
	入野区民グラウンド	(指)
	安芸津市民グラウンド	(指)

区分	名称	管理
コミュニティスポーツ広場	田口コミュニティスポーツ広場	(指)
	椋坂コミュニティスポーツ広場	(指)
	溝口コミュニティスポーツ広場	(指)
	造賀コミュニティスポーツ広場	(指)
	杵原上コミュニティスポーツ広場	(指)
	杵原下コミュニティスポーツ広場	(指)
	上戸野コミュニティスポーツ広場	(指)
	清武コミュニティスポーツ広場	(指)
	河内八祥園コミュニティスポーツ広場	(指)
テニスコート	豊栄テニスコート	
屋内球技場	豊栄屋内球技場	
キャンプ場	東広島市グリーンスポーツセンター	
海洋センター	東広島市黒瀬B&G海洋センター	(指)
	東広島市安芸津B&G海洋センター	(指)
パークゴルフ場	東広島市福富パークゴルフ場	(指)
	東広島市河内パークゴルフ場	(指)

【成果・課題】

市民に心地よく施設を利用していただくため指定管理制度を活用することで適切に維持管理がされており、アンケート調査で「グラウンドの整地状態」について94.6%「満足」の回答を得ている。

課題としては、各施設をより効果的に利用していただくために、各施設の特徴化を推進する必要がある。

イ 福富多目的グラウンドに仮設トイレを設置(396 千円)

B 球場(上段のグラウンド)に仮設トイレを設置し、利用者の利便性の向上を図った。

事業の概要						
戦略	1	スポーツ施設等の整備運営	予算	247,866 千円	決算	229,582 千円
事務事業	1-2	スポーツ施設整備事業	予算	66,044 千円	決算	52,275 千円

内容

1-2_スポーツ施設整備

① 施設の工事(46,225 千円)

ア 三永小学校グラウンドに防球ネットを設置。(うち 6,132 千円)



三永小学校グラウンド防球ネット

イ 志和市民グラウンド防球フェンス整備及び照明塔などの解体(うち 21,784 千円)



志和市民グラウンド防球フェンス



解体した照明と屋内練習場

ウ 吉原区民プールの解体(うち 11,660 千円)



解体前のプール



解体後

【成果・課題】

市民の方に安心・安全に施設を利用していただくために、「長期修繕改修計画」に基づき計画的に工事を行うことができた。

(計画4カ所→完了4カ所)

課題としては、公平な優先順位に基づき、効率的な修繕・改修をするとともに、小学校の統廃合に伴う施設の有効利用を視野に入れ、スポーツを楽しめる環境整備を進めていく必要がある。

事業の概要				
戦略	2	スポーツ活動の普及振興	予算 38,607 千円	決算 33,378 千円
事務事業	2-1	スポーツ活動活性化事業	予算 38,607 千円	決算 33,378 千円

内容

2-1_スポーツ活動の活性化

①スポーツ活動の充実

ア スポーツ教室・イベント等の開催(28,855 千円)

(ア)スポーツ振興業務の委託(うち 25,255 千円)

体育・スポーツなどの振興に関する情報提供、生きがい健康体育大学や各種スポーツ教室等の開催、スポーツに関する備品・用具の貸出業務等を教育文化振興事業団に委託した。

新型コロナウイルス感染症の影響を受け、教室等の参加者数等を削減し実施することとなったが、概ね実施することができた。

【実施期間】 4 月～3 月 (通年)

【会 場】 黒瀬・安芸津 B & G 海洋センター、東広島運動公園等

【参加者】 3,753 人

(令和 2 年度参加者数 : 6,341 人)



ニュースポーツ教室 (グラウンド・ゴルフ)



水辺の安全教室 (カヌー体験)

(イ)各種スポーツイベントの開催(うち 3,600 千円)

スポーツの振興及び競技力の向上を図るとともに、市民の健康保持や地域の活性化を促進するため、各種スポーツイベントを計画したが、多くの事業が新型コロナウイルス感染症の影響等で中止となった。

a 市民スポーツ大会(陸上の部・球技の部)・・・中止

【当初予定】 陸上の部 : 6 月 06 日 (日)

陸上の部 : 9 月 26 日 (日)

【会 場】 東広島運動公園陸上競技場・福富多目的グラウンド
及び河内スポーツアリーナほか

※オープン競技としてペタンクを追加

(令和 2 年度 参加人数 : 600 人 (ソフトボールのみ実施))

事業の概要

b トップアスリートとの交流(広島ドラゴンフライズの合宿受入)・・・中止

(a)小学校訪問

【当初予定】 9月

【会 場】 市内小学校 4校

(令和2年度：4校(東志和、造賀、板城西、豊栄))

(b)バスケットボールクリニック

【当初予定】 9月

【会 場】 東広島運動公園体育館

【対象者】 市内小中学生

(令和2年度：49人)

c ひろしま県央競歩大会・・・中止

【当初予定】 11月28日(日)

【会 場】 東広島運動公園陸上競技場

(令和2年度：新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止)

d ファミリーサッカーフェスタ

コロナ禍で外遊びや運動する機会が失われた児童(保護者)を対象に、サンフレッチェ広島レジーナを講師に迎え、サッカー教室を開催した。

【実施日】 11月28日(日)

【会 場】 東広島運動公園陸上競技場

【参加者】 197人

(令和2年度201人)



ファミリーサッカーフェスタ(サンフレッチェ広島レジーナ)

e 東ひろしま新春駅伝競走大会・・・中止

【当初予定】 1月8日(土)

【会 場】 東広島運動公園陸上競技場発着近隣周回コース

(令和2年度：新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止)

事業の概要

イ 地域におけるスポーツ活動と高齢者の運動習慣づくり(3,068 千円)

(ア)地域で活躍する人材の育成(うち 3,068 千円)

a スポーツ推進委員

各地域におけるスポーツの普及、実技指導及び助言を行うスポーツ推進委員を委嘱し、資質向上に向けた研修会を開催した。特にペタンクの研修を重ね、各地域での普及振興に努めた。

(令和 2～3 年度 委嘱人数：84 人)



全小学校区を対象としたペタンク研修会（会場：東広島運動公園体育館 講師：スポーツ推進委員）

b コミュニティ健康運動パートナー

地域住民の健康を地域で支える仕組みづくりに向け、コミュニティ健康運動パートナーを「生きがい健康体育大学」により育成するとともに、健康寿命の延伸に向けて高齢者が無理なく取り組むことができるスポーツの普及を支援した。

(令和 3 年度生きがい健康体育大学修了者：32 人)





生きがい健康体育大学 写真左：入学式、同右：太極拳講座

【成果・課題】

東広島市教育文化振興事業団のスポーツ振興教室参加者数が、6,341人（R2）から3,753人（R3）へと大きく減少した。

週に1日以上運動する人の割合の向上が課題であり、地域やスポーツ種目によっては市民への拡がりが進んでいるものもあるが、ウォーキング等、より広く市民への取組を拡げていく仕組み作りが必要である。

事業の概要				
戦略	3	スポーツの活動支援の充実	予算 47,540 千円	決算 9,671 千円
事務事業	3-1	スポーツ活動支援事業	予算 10,583 千円	決算 6,064 千円
内容				
3-1_スポーツの活動支援の充実				
①スポーツ団体の育成支援（4,293 千円）				
ア 市内スポーツ団体に対する支援(うち 4,293 千円)				
(ア)東広島市スポーツ協会への補助金の交付				
(イ)東広島市スポーツ少年団への補助金の交付				
【成果・課題】				
<p>市スポーツ協会にウオーキング協会が加盟申請され、加盟団体が 28 団体となった（R 4 正式加盟済）。</p> <p>今後は、「競技スポーツ」の枠を超え、健康づくり全般の普及振興を図る必要があることから、関係団体との連携強化に努める。</p>				
②競技スポーツの振興(1,740 千円)				
ア 全国大会出場者、全国大会開催団体に対する支援(うち 1,740 千円)				
(ア)出場奨励金				
競技力の向上を図るため、全国大会又は国際大会に出場する選手等に奨励金を交付した。新型コロナウイルス感染症の影響により、全国大会等の多くが中止されたことから、交付件数は伸びなかった。				
a 全国大会				
(a)個人競技・・・47 件（10,000 円/件）				
（野球 11 件、陸上競技 9 件、ゴルフ・卓球・テニス各 4 件等）				
(b)団体競技・・・13 件（50,000 円～150,000 円/件）				
（野球 5 件、ソフトボール 3 件、スナッグゴルフ 2 件等）				
b 国際大会				
(a)個人競技・・・2 件（20,000 円/件）				
（陸上競技 2 件）				
				
出場奨励金の贈呈（市長表敬訪問） 写真左：広島東洋カープジュニア、同右：ダイソー女子駅伝部）				
【成果・課題】				
<p>全国大会出場奨励金交付件数は、想定 151 件→実績 62 件と大幅に減となった。</p> <p>本制度の実施に加え、今後は活動場所の確保や指導者の支援も含めた指導者を育てていく仕組みづくりに取り組む必要がある。</p>				

事業の概要				
戦略	3	スポーツの活動支援の充実	予算 47,540 千円	決算 9,671 千円
事務事業	3-2	オリンピック事前合宿等推進事業	予算 36,957 千円	決算 3,607 千円
内容				
3-2_オリンピック事前合宿等の推進				
①東京 2020 オリンピック関連 (2,115 千円)				
ア オリンピックメキシコ選手団事前合宿の受入(うち 0 円)				
<p>1 年延期された東京 2020 オリンピックに出場するメキシコ選手団の事前合宿を受け入れ、選手団を支援し、市民との交流を図る計画としていたが、メキシコ選手団側の都合により、合宿受入は実現しなかった。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・レスリング・ゴルフ：直接選手村に入村されることとなったため ・卓球：オリンピック代表権を得られなかったため 				
イ オリンピック聖火リレー(うち 2,115 千円)				
<p>オリンピックへの機運の醸成等に向け、本市でも聖火リレーを計画していたが、新型コロナウイルス感染症の影響により、本市を含めた県内公道でのリレーが中止となり、県内 2 か所 (広島市及び福山市) での限定開催となった。</p> <p>【当初予定】 5 月 17 日 (月)</p> <p>【コース】 西条駅南口交差点～御園宇ランプ交差点</p> <p>【成果・課題】</p>				
<p>新型コロナウイルス感染症の影響やメキシコ選手団の都合もあり、本市での事前合宿や聖火リレーは実現できなかった。</p> <p>今後は県や競技団体等で交流が図られる際には、積極的に参加することとし、スポーツ活動の活性化及び国際交流の機会とする必要がある。</p>				
②東京 2020 パラリンピック関連(490 千円)				
ア パラリンピック聖火採火式(うち 490 千円)				
<p>パラリンピックへの機運の醸成等に向け、「東京 2020 パラリンピック聖火」の元となる「東広島市の火」の採火式を計画していたが、新型コロナウイルス感染症の影響及び直前の大雨警報の発令に伴う避難情報の発令により式典は中止とし、実行委員会事務局において「東広島市の火」を採火した。</p> <p>【実施日】 8 月 13 日 (金)</p> <p>【会 場】 東広島市役所会議室</p> <p>【成果・課題】</p>				
<p>新型コロナウイルス感染症の影響や大雨 (警報発令) もあり、パラリンピック聖火採火式は、市事務局のみでの実施となった。</p> <p>今後は、パラスポーツの普及促進に向け、関係機関との連携を図ることとしている。</p>				

令和3年度 分野別基盤事業（決算）シート

まちづくり大綱

3 人づくり

内容

<こども未来部>

(1) 幼稚園の管理（11,182 千円）【10款4項1目】

- ① 幼稚園運営に必要な物品購入に係る経費
 - ア 消耗品及び備品の購入
- ② 幼稚園運営に係る経費
 - ア 燃料費、電気代、上下水道代及び電話料金等
 - イ 廃棄物収集運搬業務の外部委託
 - ウ 機械器具（AED）の賃貸借料等
- ③ 備品の修繕及び点検調整等に係る経費
- ④ 幼稚園施設の修繕等に係る経費
- ⑤ 幼稚園施設の法定点検及び維持管理等に係る経費

<学校教育部>

(1) 小学校の管理（744,498 千円）【10款2項1目】

【新】① 河内及び志和地区における学校統合に係る経費等（うち 4,690 千円）

令和4年4月の統合等に向けて、校歌の作成及び対象地区の自治組織への統合準備補助金交付など、開校に向けて必要な準備を行った。

② 学校運営に必要な物品購入に係る経費

ア 消耗品、備品の購入

(7) 新型コロナウイルス感染症対策に必要な保健衛生用品等購入に係る経費（うち 40,469 千円）

【新】(1) 小中一貫教育校開校に伴う備品の購入（うち 2,847 千円）

令和4年4月の志和小中一貫教育校の開校等に伴う備品購入を行った。

③ 学校運営に係る経費

ア 燃料費、電気代、上下水道代、電話料金等

イ 廃棄物収集運搬業務の外部委託

【新】(7) 小中一貫教育校開校に伴う廃棄物収集運搬（うち 1,210 千円）

令和4年4月の志和小中一貫教育校等の開校等に伴う廃棄物収集運搬を行った。

ウ 機械器具（AED、印刷機）の賃貸借料等

④ 備品の修繕、点検調整等に係る経費

【新】ア 小中一貫教育校開校に伴う備品等運搬（うち 14,619 千円）

令和4年4月志和小中一貫教育校等の開校等に伴う備品等運搬を行った。

⑤ 学校施設の修繕等に係る経費

⑥ 学校施設の法定点検、維持管理等に係る経費

⑦ 仮設校舎リース等に係る経費

ア 既設の仮設校舎リース料

内容

【新】イ 平岩小学校仮設校舎建築費（リース）（うち 66,407 千円）

児童数の増に伴う教室不足に対応した。

(2) 中学校の管理（351,056 千円）【10 款 3 項 1 目】

① 学校運営に必要な物品購入に係る経費

ア 消耗品、備品の購入

(7) 新型コロナウイルス感染症対策に必要な保健衛生用品等購入に係る経費
（うち 15,504 千円）

【新】(イ) 小中一貫教育校開校に伴う備品の購入（うち 1,521 千円）

令和 4 年 4 月の志和小中一貫教育校の開校に伴う備品購入を行った。

② 学校運営に係る経費

ア 燃料費、電気代、上下水道代、電話料金等

イ 廃棄物収集運搬業務の外部委託

ウ 機械器具（A E D、印刷機）の賃貸借料等

③ 備品の修繕、点検調整等に係る経費

④ 学校施設の修繕等に係る経費

⑤ 学校施設の法定点検、維持管理等に係る経費

⑥ 仮設校舎リース等に係る経費

【新】ア 磯松中学校仮設校舎建築費（リース）（うち 49,277 千円）

生徒数の増に伴う教室不足に対応した。

(3) 学校給食の管理（13,774 千円）【10 款 6 項 3 目】

① 給食従事者の健康診断及び学校給食センター内衛生管理検査の実施

【検査内容】 定期健康診断（7～8 月）、腸内細菌検査（毎月 2 回）、
ノロウイルス検査（10～3 月に月 1 回）、衛生管理検査（年 2 回）

【健康診断対象給食従事者人数】 102 名

② 給食従事者への研修の実施

新型コロナウイルス感染症の影響により、研修の開催を中止した。

③ 各小中学校及び幼稚園配膳室の物品等の管理

④ 学校給食費の公会計に係る諸経費（うち 4,695 千円）

ア 学校給食費決定通知書等送付

イ 学校給食費決定通知書印刷業務

ウ 学校給食費管理システム保守管理

令和 3 年度開始の学校給食費公会計化にあたって必要となる保護者への通知ハガキの印刷・封緘の委託、督促状等の送付、収納管理を行うシステムの保守委託を実施し、学校給食費収納事務の円滑な運用を図った。

(4) 学校給食センターの運営（1,789,519 千円）【10 款 6 項 3 目】

① 東広島学校給食センター運営

ア 食器老朽化に伴う更新（うち 18,480 千円）

耐用年数 5～6 年を大幅に超過した 12 年以上の使用により、表面のコーティン

内容

グが剥がれ、汚れが落ちにくいなど衛生上の問題や、破損枚数も年々増加していることから、給食用食器ボールを更新した。

② 西条学校給食センター運営

ア 真空冷却機の老朽化に伴う更新

(うち 17,754 千円 (本体 11,924 千円 取付費 5,830 千円))

導入後 19 年経過しているため故障が頻発しており、保守部品の供給も終了したことから機器を更新した。

【成果】

調理場の衛生基準に係る食材の適正な温度管理を継続することが可能になった。

③ 東広島北部学校給食センター運営

④ 安芸津学校給食センター運営

※ 令和 3 年度からの学校給食費公会計化に伴い、賄材料費を一般会計に計上している。

【各学校給食センターの賄材料費内訳】

(千円)

東広島	西条	東広島北部	安芸津	合計
489,428	94,001	241,639	41,512	866,580

(5) 学校体育施設の市民開放 (7,341 千円) 【10 款 6 項 2 目】

市内公立の小学校及び中学校の体育施設を、学校教育に支障がない範囲内で、スポーツ・レクリエーション活動を行う市内在住者で構成された団体に開放した。

<生涯学習部>

(1) 成人式の開催 (4,280 千円) 【10 款 5 項 1 目】

青少年の健全育成を図るため、新型コロナウイルス感染拡大により延期をしていた「令和 2 年度東広島市成人を祝う会」を開催した。「令和 3 年度東広島市成人を祝う会」は新型コロナウイルス感染拡大により令和 4 年度に延期)

【場 所】 運動公園体育館

【開催日】 令和 3 年 5 月 2 日 (日)

【出席者数】 1,218 人



(2) 児童青少年センターの管理 (19,388 千円) 【10 款 5 項 1 目】

① 人件費等にかかる経費

ア 児童青少年センター

センター所長 1 人、活動推進員 1 人

内容

- イ 第2児童青少年センター
センター所長（アと兼務）、活動推進員2人
- ② 施設維持管理費
 - ア 委託料、使用料及び賃借料等
 - イ 事務費

